

(様式第10)

令和 4 年 10 月 5 日
厚生労働大臣 殿 開設者名 国立大学法人山口大学長
谷澤 幸生

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏名	国立大学法人 山口大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

山口大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1
電話 (0836) 22 - 2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科	<input type="radio"/>	
診療実績							
神経内科については、脳神経内科にて提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						無	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							
本院は、歯科医師を有する特定機能病院である。							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	臨床検査科	3	病理診断科	4	リハビリテーション科	5	形成外科
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
43				713	756

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	240	228	383.1
歯科医師	6	14	17
薬剤師	58	0	58
保健師	0	0	0
助産師	31	0	31
看護師	843	23	859.8
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	1	1	1.7
管理栄養士	14	0	14

職種	員数
看護補助者	49
理学療法士	17
作業療法士	7
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	18
栄養士	17
歯科技工士	1
診療放射線技師	45

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	72
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	8	
その他の技術員	27	
事務職員	247	
その他の職員	44	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	36	眼科専門医	15
外科専門医	35	耳鼻咽喉科専門医	11
精神科専門医	11	放射線科専門医	6
小児科専門医	20	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	4	整形外科専門医	12
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	23
産婦人科専門医	14	救急科専門医	11
		合計	220

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (杉野 法広) 任年月日 平成 29 年 4 月 1 日

医療の質・安全管理委員会委員(平成19年4月1日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	594.2 人	12.8 人	607 人
1日当たり平均外来患者数	1,247.6 人	69 人	1,316.6 人

1日当たり平均調剤数	2,277	剤
必要医師数	137	人
必要歯科医師数	7	人
必要薬剤師数	29	人
必要(准)看護師数	348	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	419 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	病床数	16 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 301 m ²		病床数	23 床		
	[移動式の場合] 台数 8 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 30.57 m ²					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	435 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学検査・血液検査・免疫学的検の分析装置及び搬送ライン		
細菌検査室	87 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置		
病理検査室	373 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置		
病理解剖室	477 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器		
研究室	11,955 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	光トポグラフィ装置、遺伝子発現解析システム		
講義室	2,439 m ²	鉄筋コンクリート	室数	12 室	収容定員	1,642 人
図書室	1,945 m ²	鉄筋コンクリート	室数	18 室	蔵書数	163,840 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	92 . 3 %	逆紹介率	85 . 4 %
算出根拠	A: 紹介患者の数	11,549	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,747	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,158	人
	D: 初診の患者の数	13,760	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
大学ウェブページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 該当なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
3	56	球脊髄性筋萎縮症	39	ベーチェット病	39
30	57	筋萎縮性側索硬化症	26	特発性拡張型心筋症	26
2	58	脊髄性筋萎縮症	5	肥大型心筋症	5
0	59	原発性側索硬化症	1	拘束型心筋症	1
4	60	進行性核上性麻痺	15	再生不良性貧血	15
143	61	パーキンソン病	1	自己免疫性溶血性貧血	1
5	62	大脳皮質基底核変性症	0	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
0	63	ハンテントン病	31	特発性血小板減少性紫斑病	31
0	64	神経有棘赤血球症	1	血栓性血小板減少性紫斑病	1
3	65	シャルコー・マリー・トゥース病	4	原発性免疫不全症候群	4
65	66	重症筋無力症	16	IgA腎症	16
0	67	先天性筋無力症候群	7	多発性嚢胞腎	7
84	68	多発性硬化症/視神経脊髄炎	29	黄色靱帯骨化症	29
44	69	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	138	後縦靱帯骨化症	138
3	70	封入体筋炎	10	広範脊柱管狭窄症	10
0	71	クドウ・深瀬症候群	31	特発性大腿骨頭壊死症	31
3	72	多系統萎縮症	0	下垂体性ADH分泌異常症	0
31	73	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	1	下垂体性TSH分泌亢進症	1
0	74	ライソゾーム病	5	下垂体性PRL分泌亢進症	5
1	75	副腎白質ジストロフィー	2	クッシング病	2
5	76	ミトコンドリア病	1	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
54	77	もやもや病	13	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13
0	78	プリオン病	42	下垂体前葉機能低下症	42
0	79	亜急性硬化性全脳炎	0	家族性高コレステロール血症(ホモ接合)	0
0	80	進行性多巣性白質脳症	0	甲状腺ホルモン不応症	0
1	81	HTLV-1関連脊髄症	4	先天性副腎皮質酵素欠損症	4
1	82	特発性基底核石灰化症	0	先天性副腎低形成症	0
3	83	全身性アミロイドーシス	0	アジソン病	0
0	84	ウルリッヒ病	71	サルコイドーシス	71
1	85	遠位型ミオパチー	16	特発性間質性肺炎	16
0	86	ベスレムミオパチー	11	肺動脈性肺高血圧症	11
0	87	自己食空胞性ミオパチー	0	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
0	88	シュワルツ・ヤンベル症候群	3	慢性血栓性肺高血圧症	3
18	89	神経線維腫症	2	リンパ管筋腫症	2
15	90	天疱瘡	19	網膜色素変性症	19
0	91	表皮水疱症	1	バッド・キアリ症候群	1
6	92	膿疱性乾癬(汎発型)	0	特発性門脈圧亢進症	0
1	93	スティーヴンス・ジョンソン症候群	45	原発性胆汁性胆管炎	45
0	94	中毒性表皮壊死症	3	原発性硬化性胆管炎	3
16	95	高安動脈炎	12	自己免疫性肝炎	12
0	96	巨細胞性動脈炎	100	クローン病	100
6	97	結節性多発動脈炎	157	潰瘍性大腸炎	157
21	98	顕微鏡的多発血管炎	0	好酸球性消化管疾患	0
11	99	多発血管炎性肉芽腫症	1	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
5	100	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
12	101	悪性関節リウマチ	0	腸管神経節細胞減少症	0
16	102	パージャール病	0	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
0	103	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	CFC症候群	0
130	104	全身性エリテマトーデス	0	コステロ症候群	0
66	105	皮膚筋炎/多発性筋炎	0	チャージ症候群	0
60	106	全身性強皮症	1	クリオピリン関連周期熱症候群	1
19	107	混合性結合組織病	0	若年性特発性関節炎	0
17	108	シェーグレン症候群	0	TNF受容体関連周期性症候群	0
2	109	成人ステル病	0	非典型溶血性尿毒症症候群	0
0	110	再発性多発軟骨炎	0	ブラウ症候群	0
		疾患名	患者数	疾患名	患者数
4	166	先天性ミオパチー	0	弾性線維性仮性黄色腫	0
0	167	マリネスコ・シェーグレン症候群	2	マルファン症候群	2
7	168	筋ジストロフィー	0	エーラス・ダンロス症候群	0
0	169	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	メンケス病	0
0	170	遺伝性周期性四肢麻痺	0	オクシピタル・ホーン症候群	0
1	171	アトピー性脊髄炎	0	ウィルソン病	0
1	172	脊髄空洞症	0	低ホスファターゼ症	0
0	173	脊髄髄膜瘤	1	VATER症候群	1
1	174	アイザックス症候群	0	那須・ハコラ病	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

120	遺伝性ジストニア	0	175	ウィーバー症候群	0
121	神経フェリチン症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	177	ジュペール症候群関連疾患	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	180	ATR-X症候群	0
126	ペリー症候群	0	181	クルーゾン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	182	アペール症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	183	ファイファー症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリス症候群	0
131	アレキサンダー病	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	187	歌舞伎症候群	0
133	メビウス症候群	0	188	多脾症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候	0	189	無脾症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	0	191	ウェルナー症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	192	コケイン症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	194	ソトス症候群	0
140	ドラベ症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側頭葉てんかん	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	198	4p欠失症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	199	5p欠失症候群	0
145	ウエスト症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
151	ラスムッセン脳炎	0	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	208	修正大血管転位症	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	209	完全大血管転位症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	0
156	レット症候群	0	211	左心低形成症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	212	三尖弁閉鎖症	0
158	結節性硬化症	0	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
159	色素性乾皮症	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
160	先天性魚鱗癬	0	215	ファロー四徴症	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	216	両大血管右室起始症	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2	217	エプスタイン病	0
163	特発性後天性全身性無汗症	0	218	アルポート症候群	0
164	眼皮膚白皮症	0	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	220	急速進行性糸球体腎炎	3
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	276	軟骨無形成症	0
222	一次性ネフローゼ症候群	9	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
224	紫斑病性腎炎	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
225	先天性腎性尿崩症	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
227	オスラー病	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
228	閉塞性細気管支炎	0	283	後天性赤芽球癆	3
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
230	肺胞低換気症候群	0	285	ファンconi貧血	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
232	カーニー複合	0	287	エプスタイン症候群	0
233	ウォルフラム症候群	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

235	副甲状腺機能低下症	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	291	ヒルシスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	292	総排泄腔外反症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	293	総排泄腔遺残	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
240	フェニルケトン尿症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
241	高チロシン血症1型	0	296	胆道閉鎖症	0
242	高チロシン血症2型	0	297	アラジール症候群	0
243	高チロシン血症3型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
244	メーブルシロップ尿症	0	299	嚢胞性線維症	0
245	プロピオン酸血症	0	300	IgG4関連疾患	4
246	メチルマロン酸血症	0	301	黄斑ジストロフィー	1
247	イソ吉草酸血症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
249	グルタル酸血症1型	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
250	グルタル酸血症2型	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
251	尿素サイクル異常症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	23
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	307	カナパン病	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	308	進行性白質脳症	0
254	ポルフィリン症	0	309	進行性ミオクローヌステんかん	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	310	先天異常症候群	0
256	筋型糖原病	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
257	肝型糖原病	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
260	システロール血症	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0
261	タンジール病	0	316	カルニチン回路異常症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	317	三頭酵素欠損症	0
263	脳髄黄色腫症	0	318	シトリン欠損症	0
264	無βリポタンパク血症	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
265	脂肪萎縮症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
266	家族性地中海熱	1	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
267	高IgD症候群	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
271	強直性脊椎炎	3	326	大理石骨病	0
272	進行性骨化性線維異形成症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	328	前眼部形成異常	0
274	骨形成不全症	0	329	無虹彩症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄	0
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
331	特発性多中心性キャッスルマン病	0			
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0			
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0			
334	脳クレアチン欠乏症候群	0			
335	ネフロン癆	0			
336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0			
337	ホモシスチン尿症	0			
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	94
合計患者数(人)	1842

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・入退院支援加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料	・精神疾患診療体制加算
・救急医療管理加算	・地域医療体制確保加算
・超急性期脳卒中加算	・救命救急入院料4
・診療録管理体制加算2	・特定集中治療室管理料2
・医師事務作業補助体制加算2	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護職員夜間配置加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護補助加算	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・後発医薬品使用体制加算2	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算2	・
・データ提出加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・医療機器安全管理料1
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・医療機器安全管理料2
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・医療機器安全管理料(歯科)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料イ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ロ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料ニ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・骨髄微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・小児運動器疾患指導管理料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・先天性代謝異常症検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・腎代替療法指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・一般不妊治療管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・生殖補助医療管理料1	・検体検査管理加算(IV)
・外来放射線照射診療料	・国際標準検査管理加算
・外来腫瘍化学療法診療料1	・遺伝カウンセリング加算
・連携充実加算	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・がん治療連携計画策定料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・肝炎インターフェロン治療計画料	・胎児心エコー法
・こころの連携指導料(Ⅱ)	・ヘッドアップティルト試験
・薬剤管理指導料	・人工膵臓検査、人工膵臓療法
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・長期継続頭蓋内脳波検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・単線維筋電図	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・光トポグラフィー	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・全視野精密網膜電図	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
・ロービジョン検査判断料	・がん患者リハビリテーション料
・コンタクトレンズ検査料1	・リンパ浮腫複合的治療料
・小児食物アレルギー負荷検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・内服・点滴誘発試験	・精神科作業療法
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・CT透視下気管支鏡検査加算	・医療保護入院等診療料
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・画像診断管理加算3	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・CT撮影及びMRI撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・冠動脈CT撮影加算	・硬膜外自家血注入
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・外傷全身CT加算	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・心臓MRI撮影加算	・人工腎臓
・乳房MRI撮影加算	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・頭部MRI撮影加算	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・全身MRI撮影加算	・磁気による膀胱等刺激法
・肝エラストグラフィ加算	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・歯科技工加算1及び2
・外来化学療法加算1	・センチネルリンパ節加算
・無菌製剤処理料	・自家脂肪注入

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角結膜悪性腫瘍切除術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・羊膜移植術	・胸腔鏡下弁形成術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・網膜再建術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・人工中耳植込術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術

<ul style="list-style-type: none"> ・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
<ul style="list-style-type: none"> ・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科) 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助人工心臓

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・胎児輸血術及び臍帯穿刺
・腹腔鏡下肝切除術	・体外式膜型人工肺管理料
・生体部分肝移植術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・腹腔鏡下脾腫瘍摘出術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・輸血管理料 I
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・コーディネート体制充実加算
・同種死体腎移植術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・生体腎移植術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・麻酔管理料 (I)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・麻酔管理料 (II)
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・放射線治療専任加算
・精巣内精子採取術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・高エネルギー放射線治療

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
がん認識抗体とCAR-T細胞による難治性B細胞性悪性リンパ腫を対象とした第I相医師主導臨床試験	玉田 耕治	免疫学講座	116,675,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
固形がんに対するIL-7/CCL19産生型CAR-T細胞療法の研究開発	玉田 耕治	免疫学講座	68,900,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肝細胞癌に対する高感度DNAメチル化解析による簡便かつ低コストスクリーニング検査の研究開発	佐伯 一成	第一内科	15,422,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
慢性腎臓病に対するリアノジン受容体安定化薬併用療法の開発	内海 仁志	器官病態内科学講座	9,100,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多発性嚢胞腎に対する新規治療剤の探索	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	7,231,400	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
細胞内1分子力学操作による非熱的ゆらぎの影響解析	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	5,200,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタビン+シスプラチン+S-1(GCS)療法の第III相試験	井岡 達也	腫瘍センター	2,250,163	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
総合失調症の早期診断のエビデンスの創出	中川 伸	高次脳機能病態学講座	1,950,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
ATLに対するTax標的樹状細胞ワクチン療法の医師主導治験の実施(統計解析)	下川 元継	基礎検査学講座	1,300,000	補 委	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
眼科硝子体手術普及のための眼内内視鏡保持ロボット開発	木村 和博	眼科学講座	1,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
がん治療開発実施基盤の構築 細胞製造における問題とその解決	玉田 耕治	免疫学講座	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
高中性脂肪血症を合併した冠動脈疾患を対象としたペマフィブラートの冠動脈プラークの退縮に及ぼす影響を検討する無作為化非盲検群間比較試験(PEMA-CORE study)	岡村 誉之	第二内科	632,500	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
臨床試験段階において試験の準備から出口戦略までの一貫した管理を担うスタディマネージャーの育成システムの開発に関する研究	丸本 芳雄	臨床研究センター	551,605	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
クリゾチニブの再発または難治性ALK陽性未分化大細胞型リンパ腫に対する第I/II相および再発または難治性神経芽腫に対する第I相医師主導治験	深野 玲司	小児科	440,000	補 委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
乳児期発症のアトピー性皮膚炎の子供を追跡しアレルギーマーチへの診療の影響と危険因子を探索する前向きコホート研究	長谷川 俊史	小児科学講座	390,000	補 委	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
遺伝子スクリーニング基盤(LC-SCRUM-Japan)を利用した、MET遺伝子異常陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究(生物統計に関するコンサルテーションの実施、医師主導治験の実施)	下川 元継	基礎検査学講座	260,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
人工知能(AI)技術を妊婦検診データに応用した妊娠高血圧症候群の予測システムの開発	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,600,000	補 委	浜田市

小計 18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	下村 裕	皮膚科学講座	1,243,000	補 委	山口県
骨質/形状を最適カスタム化した未来型人工股関節の自動設計プラットフォームの開発と3D積層造形デジタルデータベースの構築	坂井 孝司	整形外科科学講座	10,890,000	補 委	帝人ナカシマメディカル株式会社
切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ使用による外科的切除可能性の検討(多施設共同臨床研究)LENS-HCC	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	220,000	補 委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究J-DOIT3(追跡)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	200,000	補 委	公益財団法人日本糖尿病財団
個別化医療に有用な造血管腫瘍系遺伝子検査システムの研究開発	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	3,000,000	補 委	東洋鋼鈑株式会社
革新的コア医療技術に基づく潜在的アンメット・メディカル・ニーズ市場の開拓および創造	玉田 耕治	免疫学講座	74,655,000	補 委	文部科学省
革新的コア医療技術に基づく潜在的アンメット・メディカル・ニーズ市場の開拓および創造	高見 太郎	消化器内科学講座	10,000,000	補 委	文部科学省
革新的コア医療技術に基づく潜在的アンメット・メディカル・ニーズ市場の開拓および創造	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	10,000,000	補 委	文部科学省
他家細胞を用いた積層線維芽細胞シートによる難治性皮膚潰瘍の治療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学講座	1,500,000	補 委	国立大学法人岡山大学
癌治療時の口腔乾燥症や口腔粘膜炎に対するアミノ酸含有新規経皮浸透性ゲル化剤の開発	原田 耕志	歯科口腔外科学講座	1,000,000	補 委	国立大学法人岡山大学
卵巣癌の発生・進展に関与するlong non-coding RNA の同定と機能解析	杉野 法広	産科婦人科学講座	750,000	補 委	美祿市
うつ病患者における疾患バイオマーカーの確立	中川 伸	高次脳機能病態学講座	375,000	補 委	美祿市
口蓋裂術後患者の言語評価	三島 克章	歯科口腔外科学講座	375,000	補 委	美祿市
固形がんに対する新規CAR-T細胞技術のメカニズム解析研究	玉田 耕治	免疫学講座	11,310,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中枢神経バリアー構成細胞の特性を利用した難治性中枢神経疾患の新規治療法開発	神田 隆	臨床神経学講座	8,840,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
立体臓器形成・再生の力学恒常性を司るフィードバック分子機構の解明	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	7,540,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん発症・進展過程におけるYAPの活性化の機械的制御機構の解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医化学講座	7,540,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多機能センシング技術により計測される頭蓋内皮質活動を用いた病態検出システムの開発	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	7,150,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄由来肝臓修復細胞による高効率肝臓再生療法の先制的適応拡大研究と機序解明	坂井田 功	消化器内科学講座	7,090,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
リアノジン受容体結合カルモジュリン制御による心不全・心肥大・致死的不整脈の治療	矢野 雅文	器官病態内科学講座	6,510,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クロマチン制御による熱ショック応答の調節機構の解明	中井 彰	医化学講座	6,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大動脈瘤の退縮治癒を促進する力学刺激-免疫連関制御療法の創成	吉村 耕一	器官病態外科学講座	6,370,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体数可塑性を利用したPatau症候群の絨毛病発症機構の解明	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	5,746,832	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性黒色腫に高度に集積するマルチ温熱・放射線セラノスティックス・ナノ粒子の開発	中村 教泰	器官解剖学講座	5,710,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
機能増強させた細胞由来のエクソソームを用いたcell-free血管再生療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学講座	4,940,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
オルガノイド法を用いたミニ子宮内膜作成と子宮内膜再生医療の展開	杉野 法広	産科婦人科学講座	4,940,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
交感神経活性化に着目した進行性脂肪肝疾患における心血管イベント発症機序の解明	劉 金耀	その他(TA・RA等以外)医学系研究科	4,680,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞ストレスからβ細胞不全、インスリン抵抗性へ:新たなメカニズムの探究	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	4,290,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
前立腺癌オルガノイドと3D in vitroモデルによる至適薬剤選択法の開発	松山 豪泰	泌尿器科学講座	4,160,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
強靱な3次元臓器構築に不可欠なメカノホメオスタシスの基本原理の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態医化学講座	3,920,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス経験により記録される海馬内経験情報の可視化と符号化ルール解明	美津島 大	神経生理学講座	3,640,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
歩行型分子モーターの変異体散逸計測と情報の視点を導入した数理モデル構築	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	3,380,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
構音障害の病態解明を目指す数値流体音響解析を用いた構音シミュレーション法の開発	三島 克章	歯科口腔外科学講座	2,990,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
疑似細胞環境下における発動分子のゆらぎに誘導される運動特性の解析	有賀 隆行	ゲノム・機能分子解析学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
睡眠時における大脳皮質領域間の相互作用を定量する指標の提案	安部 武志	医学系研究科・医学部附属病院AIシステム医学・医療研究教育センター	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性てんかんに対する温度感受性TRPM8チャネルの有効性と病態制御基盤の解明	森山 博史	脳神経外科	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゲノムストレス誘導性染色体微細構造の形態特性の解明	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	2,500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
運動学習における特異的GABAシナプス脱抑制のメカニズムとその意義	木田 裕之	神経生理学講座	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Clarification of protective functions of Huntingtin-associated protein 1 against autonomic and	イスラム エムディノビウル	神経解剖学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
妊婦健診データのAI分析による妊娠高血圧症候群の発症予測システムの実用化	品川 征大	総合周産期母子医療センター	2,340,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮頸癌における三酸化二砒素によるCBR1増加を介した新規分子標的治療の開発	梶邑 匠彌	総合周産期母子医療センター	2,340,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を標的とした小胞体Caリーク制御による新しい腎臓病治療法の開発	内海 仁志	器官病態内科学講座	2,340,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍および宿主両面からみた複合バイオマーカー探索にもとづく肺癌個別化治療への展開	中島 正夫	第二外科	2,340,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マクロファージによる食食を回避するエクソソーム経静脈投与による血管新生療法の開発	溝口 高弘	第一外科	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大動脈瘤ハイブリッド治療を目指したFAK阻害剤局所投与法の開発	原田 剛佑	第一外科	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PAPRI活性制御によるRPの制御機構解明	芦森 温茂	眼科学講座	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔細菌フソバクテリウム制御による大腸癌予防法の開発	河崎 啓介	歯科口腔外科	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メマトニンによる卵子の質向上メカニズムの解明	田村 博史	産科婦人科学講座	2,210,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
便潜血検査と便DNA検査併用による大腸腫瘍スクリーニング精度の検証	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学講座	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌におけるがん微小環境に関連した新規バイオマーカーと治療標的の探索	松井 洋人	第二外科	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜変性疾患における熱ショック転写因子1の病態解明と網膜神経保護薬の開発	波多野 誠	眼科	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
標的ガングリオシドを遮蔽する糖脂質：ギラン・バレー症候群の発症と臨床像の規定因子	古賀 道明	臨床神経学講座	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂質関連遺伝子の異常による先天性毛髪疾患の病態解析	下村 裕	皮膚科学講座	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗EGFR抗体は大腸癌をHot tumorに変えることができるか	友近 忍	手術部	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
左冠動脈主幹部分岐部病変に対する最適なtwo stent治療の追求	藤村 達大	第二内科	2,080,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
静脈性難治性皮膚潰瘍に対する自家細胞シート移植の成績と患者の細胞増殖能との関係	末廣 晃太郎	先進救急医療センター	1,950,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
濃縮骨髄液を用いた良性骨腫瘍切除後の再建法の開発	三原 惇史	整形外科	1,950,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知機能障害と情動調整障害を同時に回復するうつ病のニューロフィードバック法の開発	松原 敏郎	高次脳機能病態学講座	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
深在性かつ広範に跨る脳疾患部位を効果的に冷却できるハイブリッド脳冷却技術の開発	井上 貴雄	脳神経外科学講座	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
広汎性脱分極(皮質延延性抑制)が脳虚血に及ぼす影響についての研究	杉本 至健	脳神経外科	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
RPE細胞のEMTにおける新規ベンゾイルフェニルウレア化合物の作用機序の解明	小林 正明	眼科	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト神経組織と喘息マウスを用いた急性弛緩性脊髄炎の病態解明と予防・治療応用	松重 武志	小児科	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工関節感染の早期診断における新規バイオマーカー関節液中プレセプシンの有用性	今釜 崇	整形外科	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎癌の免疫チェックポイント阻害剤治療予測マーカーとしてのlncRNAの有用性	平田 寛	泌尿器科	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小中学生の摂取脂肪酸・アミノ酸の組成データ解析による健康リスクとの関連評価	奥田 昌之	機械工学分野	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
硬さによる1次繊毛制御の分子メカニズムの解明	徳永 雅之	産科婦人科学講座	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
独自に誘導した食道癌幹細胞様細胞を用いた食道癌治療抵抗性の解析	渡邊 裕策	第二外科	1,820,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゼブラフィッシュ側線器有毛細胞を用いた内耳におけるオートファジーの役割の解明	廣瀬 敬信	耳鼻咽喉科	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
漏出細胞内タンパク質の細胞外機能:組織損傷時の食細胞への作用と炎症・抗炎症調節	泉 友則	その他(TA・RA等以外)医学系研究科	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫細胞成分を含む癌ニッチ形成を応用した膀胱癌薬剤感受性プラットフォームの開発	松本 洋明	泌尿器科	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンキナーゼを標的としたインフラマソーム制御による新しい心不全治療	末富 建	第二内科	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
術後肝内再発抑制法開発に向けた肝癌幹細胞特異的なHLA抗原ペプチドの同定	兼清 信介	消化器・腫瘍外科学講座	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌腹膜播種を亢進する独自の誘導胃癌幹細胞からの播種再発抑制標的の同定	西山 光郎	第二外科	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージングバイオマーカーによるCOPDの身体活動性障害の機序解明と解析	村田 順之	第二内科	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンの核内移行制御による新しい心不全・心肥大の治療	山本 健	病態検査学講座	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臓器間ネットワークによる膵α細胞新生機構と代謝制御の解明	奥屋 茂	保健管理センター	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺がんの抗がん剤抵抗性に関与する新規遺伝子の同定を目指したRNA修飾酵素の解析	原田 栄二郎	第一外科	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ラット熱中症モデルにおけるNアセチルシステインと水素吸入による新規治療法の開発	中原 貴志	先進救急医療センター	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NFATc4に焦点を当てた膠芽腫の壊死周囲微小環境の腫瘍幹細胞誘導能解析	崔 丹	病理形態学講座	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
MED12変異(+)と(-)子宮筋腫の異種移植モデルを用いた治療効果の検討	佐藤 俊	産科婦人科	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
症例登録事業の根幹をなす精度検証とその向上に資する支援のあり方についての研究	石田 博	医療情報判断学講座	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
猫ひっかき病のヒトへの感染予防に向けたネコワクチン・急性期診断・抗原バンクの開発	大津山 賢一郎	病態検査学講座	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超音波を用いたリンパ節辺縁洞微小転移治療と遠隔転移予防効果の検証	加藤 茂樹	器官解剖学講座	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症の線維化に関与するTGFβ経路の活性化機構の解明	三原 由実子	総合周産期母子医療センター	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺病変の検出を目的とした胸部単純X線画像と深層学習を組み合わせた差分技術の開発	清水 陽一郎	放射線部	1,690,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
川崎病治療反応性の予測因子および難治例への層別化治療法の確立	長谷川 俊史	小児科学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期・小児期において家族が「核」となるための遺伝看護実践能力の探索	村上 京子	母子看護学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IVR治療と再生療法の融合による新規非代償性肝硬変治療の開発を目指した臨床研究	石川 剛	消化器内科学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代積層心筋幹細胞シート凍結保存法の開発	桂 春作	医学教育学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体による血栓形成作用の解明	金重 里沙	基礎検査学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PDZRN3による核内のパラスペックルを介した新たな心筋分化制御機構の解明	本田 健	薬理学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性神経疾患の克服を目指した神経系血管バリアーの人為的制御手法の確立	池田 栄二	病理形態学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経疾患での血液脳関門/血液神経関門破綻の全容解明と新規治療法開発	清水 文崇	脳神経内科	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COPDにおける身体非活動と認知機能障害の併存病態の解析システム構築	平野 綱彦	呼吸器・感染症内科	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化器癌の遺伝子変異に由来する腫瘍抗原ペプチドの同定と新規免疫療法の開発	碓 彰一	共同研究講座(先端がん治療開発学講座)	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
劇症型急性肺炎の劇症化メカニズムの解明と新規治療法の開発	長谷川 明洋	ゲノム・機能分子解析学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
核内Fアクチン形成によるヒト子宮内膜間質細胞の脱落膜化機構の解明	田村 功	産科婦人科学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IL-33/ST2を介した川崎病および冠動脈病変発症機序の解明	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝線維化改善効果評価法の確立のための基礎検討	原 和彦	検査部	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
骨格筋由来エクソソームを介したフレイルによる認知症発症メカニズムの解明	富永 直臣	病態検査学講座	1,560,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
成長因子と神経栄養因子の協同作用による創傷治癒促進機構の解明	酒井 大樹	薬理学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーを発症・増悪させる血液神経関門破綻機序の解明	尾本 雅俊	臨床神経学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性中皮腫に対する次世代型CAR-T細胞療法の開発	佐古田 幸美	免疫学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心肺運動負荷検査指標に基づいた運動プログラムによるうつ病の個別化治療	中川 伸	高次脳機能病態学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Hippo-YAP経路による3次元腸管構築と感染・発がん・腸内細菌叢制御の解明	白井 睦訓	ゲノム・機能分子解析学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
DBPシグナルを介した時計遺伝子ネットワークによるインスリン分泌制御機構の解明	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子制御ネットワークと数理モデルで見出したマスター遺伝子による子宮内膜症の誘導	前川 亮	総合周産期母子医療センター	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
TROY関連遺伝子は大腸癌の再発予測マーカーとして有用か？	西岡 光昭	検査部	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病バイオマーカーとしての長鎖非コードRNAへトランスレシーショナルな視点から～	關 友恵	精神科神経科	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新生児脳症の病態に則した血清バイオマーカーに関する検討	高橋 一雅	総合周産期母子医療センター	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工知能による遺伝子発現プロファイル解析に基づいた子宮内膜症の新規治療標的の探索	杉野 法広	産科婦人科学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中間径フィラメントビメンチンを介した新規血管平滑筋異常収縮シグナル伝達機構の解明	岸 博子	分子細胞生理学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
海馬による経験依存的な記憶形成機構	石川 淳子	神経生理学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病の鑑別診断を目指した糖タンパク質バイオマーカーの新たな展開	山形 弘隆	精神科神経科	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌の定位放射線治療における個別化ゲノム医療の探求	田中 秀和	放射線腫瘍学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高感度メチル化解析法による新たな肝癌診断スクリーニング検査の構築	山崎 隆弘	臨床検査・腫瘍学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血中循環腫瘍細胞由来のオルガノイドを応用した転移性癌に対する新規免疫療法開発	田邊 剛	公衆衛生学・予防医学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
積層線維芽細胞シートを使用した術後気管支断端瘻の予防法の開発	村上 順一	第一外科	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピゲノム情報の統合解析による顆粒膜細胞の黄体化に伴う遺伝子発現制御機構の解明	白蓋 雄一郎	産科婦人科	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
臓器の恒常性維持と再生におけるYAP活性化の機械的制御機構の解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医化学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
時計遺伝子E4BP4によるマクロファージの炎症制御機構の解明	山本 薫	病態制御内科学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規に同定した細胞接着斑分子paxillinが血管収縮を制御するメカニズムの解明	張 影	分子細胞生理学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Snフィルターを用いた超低線量小児CT技術の確立のための検討	國弘 佳枝	放射線科	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアジン受容体を分子標的とした心不全・不整脈の新たな治療開発	小林 茂樹	器官病態内科学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌肝転移に関与する癌細胞由来マイクロRNAの同定と制御するメカニズムの解明	徐 明	消化器・腫瘍外科学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家細胞を用いた機能強化型積層細胞シートによる難治性皮膚潰瘍の治療法の開発	柳原 正志	第一外科	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
知覚神経を介した眼特異的ゲートウェイ反射の解明と神経伝達物質による炎症再燃の抑制	柳井 亮二	眼科	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳がん患者の妊孕性選択を支える支援ツールの開発	紙谷 恵子	臨床看護学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エイジング・イン・プレイスを実現する地域密着型事業所拠点の看取り支援体制の構築	永田 千鶴	地域・老年看護学講座	1,430,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
HSF1複合体によるエピジェネティックな遺伝子発現制御機構の解明	藤本 充章	医化学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体分配関連因子による熱ショック遺伝子の転写誘導機構の解明	瀧井 良祐	医化学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリン、GRK5の動態を標的とした心不全・動脈硬化に共通した治療法の探査	小田 哲郎	第二内科	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生活習慣病に合併する肝癌の早期診断マーカーの開発:血中細胞外小胞の解析	山口 奈津	公衆衛生学・予防医学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たな高感度リキッドバイオプシーによる進行肝癌治療マネージメントへの挑戦	佐伯 一成	第一内科	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児リウマチ性疾患における免疫担当細胞の動態解析と難治性予測バイオマーカーの確立	脇口 宏之	小児科学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CyTOFによる大腸腫瘍浸潤CD4+FOXP3+細胞の解析と予後因子としての役割	吉田 晋	消化器・腫瘍外科学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子改変ゼブラフィッシュを用いた有毛細胞障害機構の解明	山下 裕司	耳鼻咽喉科学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低リスク網膜再生を実現する内在性幹細胞活性化-CRMP群のリン酸化制御	徳田 和央	眼科学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜下線維化における網膜色素上皮を起点とした補体系経路の新たな作用機構の解明	木村 和博	眼科学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肝細胞癌術前がん免疫療法症例の腫瘍浸潤リンパ球を用いた抑制性免疫の解明	新藤 芳太郎	消化器・腫瘍外科学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
独自に誘導した膵癌幹細胞の免疫逃避機構の解明	松隈 聡	第二外科	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージサイトメトリーによるインターフェロンの抗腫瘍効果の解析	近藤 智子	分子病理学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代CAR-T細胞療法開発に応用可能なエピトープスプレディング誘導機構の解析	安達 圭志	免疫学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非造影マルチパラメトリックMRIによるNASHの早期診断法の確立	伊東 克能	放射線医学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌に対するFOLFOXIRI療法における副作用診断チップの開発	鈴木 伸明	消化器・腫瘍外科学講座	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家積層線維芽細胞シート移植が術後気管支断端にもたらす血流増強効果の検討	田中 俊樹	手術部	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂肪量・分布とICU acquired weaknessの関連	古賀 靖卓	先進救急医療センター	1,300,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工呼吸器患者の口腔ケア支援アプリケーションを用いた教育効果と口腔機能管理の向上	田戸 朝美	臨床看護学講座	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生能を有するmicroRNAを改変した人工核酸による血管新生療法の開発	上野 耕司	第一外科	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
形態/機能画像融合イメージングによるCOPDの同一時空間的定量画像評価法の確立	浅見 麻紀	呼吸器・感染症内科	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
線維性腸管狭窄に対するメカニズムの解明と臨床応用への検討	橋本 真一	光学医療診療部	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵β細胞脱分化におけるTxnipシグナル解明に基づく糖尿病治療の研究	田部 勝也	第三内科	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症・死細胞因子と細胞外マトリクス連関を介した炎症性破骨細胞形成メカニズム	朝霧 成挙	薬理学講座	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮頸癌に対する有機シリカ・ナノ粒子キャリアを用いたCRB1遺伝子治療法の開発	末岡 幸太郎	総合周産期母子医療センター	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療的ケア児の経腸栄養製品の長期使用における免疫機能と腸内有機酸への影響	星出 まどか	小児科学講座	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
股関節疾患におけるキネマティクス・キネティクスと患者満足度評価	坂井 孝司	整形外科科学講座	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
成体肺に潜在する再生能の再活性化に基づく肺再生療法の確立	清水 勇輝	基礎検査学講座	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の病態パターンと発症リスクを層別化できる検査診断法の確立	野島 順三	基礎検査学講座	1,170,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝予備能不良進行肝細胞癌に対する鉄キレート剤と再生療法によるハイブリッド療法開発	高見 太郎	消化器内科学講座	1,150,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
抗線維化作用増強exosomeを用いた継続型低侵襲肝臓再生療法の開発	松本 俊彦	消化器内科学講座	1,100,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エンテロウイルスD68感染による重症気管支喘息発作発症の解明および治療法の開発	安戸 裕貴	小児科学講座	1,091,762	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クリティカルケアにおける臨床倫理分析・調整システムツールの開発	山勢 博彰	臨床看護学講座	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アクチン重合のターンオーバーによる臓器・個体サイズ制御機構の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態医化学講座	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝癌幹細胞特異的RAB3Bを標的とした術後肝内再発抑制のための新規治療法開発	恒富 亮一	第二外科	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心筋幹細胞移植による心機能再生メカニズム解明とcell-free再生治療法の開発	鈴木 亮	器官病態外科学講座	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
グルカゴン様ペプチド1作動薬を用いた内在性保護機構活性化による脊髄保護	松本 美志也	麻酔・蘇生学講座	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性心筋虚血における、ミトコンドリアのオートファジーの分子機構解明	齊藤 寿郎	第一外科	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生因子を搭載した人工型エクソソームによる、難治性心疾患の新規治療法の開発	藏澄 宏之	器官病態外科学講座	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
虚血プレコンディショニングによるステントグラフト内挿術後腎筋虚血障害の克服	森景 則保	第一外科	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Exercise, diet and brain training-based cocktail intervention for improving physical and cognitive	ホセイン マハブブ	公衆衛生学・予防医学講座	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
10代に向けたe-learningによる経口避妊薬教育プログラムの開発と効果検証	亀崎 明子	母子看護学講座	1,040,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
水域生態系における薬剤耐性菌の伝播と感染メカニズムの解明への挑戦	小林 由紀	基礎検査学講座	949,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱性けいれんの機序解明による中枢神経の高温感受性の理解	野村 貞宏	脳神経外科学講座	910,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マルチ9軸センサと次世代VOGを用いた頭部・体幹・眼球同期記録と動的平衡機能評価	橋本 誠	耳鼻咽喉科	910,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
各種キナーゼの有毛細胞死への関わり	竹本 洋介	耳鼻咽喉科	910,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
アドバンスケアプランニングと同時に開始する患者の生活関係清算への支援に関する研究	田中 愛子	基礎看護学講座	910,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
液体クロマトグラフィー/質量分析法を用いた川崎病冠動脈病変誘発物質の特定	大西 佑治	小児科	910,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
精神担当保健師のための「同僚と10分で困難事例対応能力を向上させる業務モデル」	守田 孝恵	地域・老年看護学講座	806,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
食欲不振を引き起こすメカニズムの解明	柳井 章江	基礎検査学講座	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自己免疫性神経疾患における炎症細胞浸潤を誘導する血管内皮細胞膜抗原の網羅的同定	竹下 幸男	臨床神経学講座	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膠芽腫における腫瘍関連マクロファージによる受容体型チロシンキナーゼ活性化の究明	貞廣 浩和	手術部	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
MSI関連因子を用いた泌尿器癌の抗PD-1抗体治療効果予測アルゴリズムの作成	山本 義明	泌尿器科	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝線維化抑制を目指した血管内皮機能評価による治療効果予測への試み	末永 弘美	病態検査学講座	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
意思決定のパラダイムを用いたNIRSによる抑うつ状態の鑑別診断法の開発	陳 冲	高次脳機能病態学講座	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
患者個別治療効果に基づく適応放射線治療に向けた新規コンビームCTシステムの開発	湯淺 勇紀	放射線部	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
根治不能口腔癌との共生を目指した新規治療法の開発	竹縄 隆徳	歯科口腔外科	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期のメンタルヘルス調査とパートナーへの介入方法に関する研究	樋口 尚子	保健管理センター	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠先行型結婚をした夫婦へのケアプログラムの構築	河本 恵理	母子看護学講座	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四次元CTから肝線維症を捉える革新的な硬度マップ構築法の開発と放射線治療への応用	藤本 昂也	放射線治療部	780,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌検診への非造影MRI導入:高分解能拡散強調画像による診断能向上を目指して	古川 又一	放射線医学講座	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症患者の回復期のせん妄・睡眠障害・対光反射と短期ADLとの関連	鶴田 良介	救急・総合診療医学講座	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳圧上昇によるGlymphatic pathway障害に関する研究	岡 史朗	脳神経外科	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
全ての患者に適応可能な代謝産物を標的とする革新的がん免疫療法の開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
3次元培養を用いたYAP代謝プロファイルの研究	古元 礼子	システムズ再生・病態医化学講座	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四肢虚血リモートプレコンディショニングと水素ガス投与併用による神経保護効果の検討	山下 理	麻酔科蘇生科	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
傍脊椎神経ブロックによる側副血行増強に着目した新たな脊髄虚血保護戦略の検討	山下 敦生	麻酔・蘇生学講座	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
転写因子WT1による子宮内膜間質細胞の脱落膜化と脂質代謝制御機構の解明	竹谷 俊明	産科婦人科	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
バイオマス光触媒反応における担持金ナノ粒子触媒のプラズモン共鳴と助触媒効果	望月 ちひろ	器官解剖学講座	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
バーチャルヒューマンモデルを用いた一次救命処置の改良・開発	若松 弘也	集中治療部	650,000	(補委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
スピリチュアルケア実践能力向上に向けた看護卒後教育プログラムの開発と評価	生田 奈美可	基礎看護学講座	541,407	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高齢者のせん妄予防を目的とした快刺激映像の臨床応用	堤 雅恵	地域・老年看護学講座	520,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
1歳6か月児健診カンファレンスシートを活用した地域の健康課題発見モデルの開発	斎藤 美矢子	地域・老年看護学講座	520,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ハイリスク症例に対する新しい脊椎脊髄手術モニタリングの開発	船場 真裕	整形外科科学講座	520,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜リンパ球は子宮体がんの形成に関与するか	城崎 幸介	免疫学講座	520,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マムシ咬傷治療法確立のための多施設前向き観察研究	金田 浩太郎	先進救急医療センター	390,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
単一細胞遺伝子解析によるヒト造精機能障害の分子機構の解明	白石 晃司	泌尿器科学講座	390,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
「認知症高齢者の在宅復帰パス」の開発	清永 麻子	地域・老年看護学講座	390,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
数値流体力学血流解析による早期ステント被覆と新生動脈硬化の機序解明と治療最適化	宮崎 要介	第二内科	390,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
診療参加型実習における学生診療録ピア・レビュー教育の有効性に関する研究	久永 拓郎	医学教育学講座	390,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ディープラーニングによる胃癌の深達度診断	五嶋 敦史	消化器内科学講座	390,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
記憶形成におけるGABAA受容体β3・Ser408-409リン酸化の機能的意義	崎本 裕也	神経生理学講座	390,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病モデルマウスにおけるプロテインキナーゼC活性と難聴についての研究	津田 潤子	耳鼻咽喉科	260,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知症発症に関連する因子の検討ー特に栄養状態と体組成の観点からー	野垣 宏	地域・老年看護学講座	260,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新人看護師が認識するチームの心理的安全性が看護実践能力に与える影響	浅海 菜月	基礎看護学講座	260,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
デュアルエネルギーCTを用いた羊水塞栓子描出の研究	岡田 宗正	放射線部	190,726	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病の膵β細胞脱分化に対する治療標的の同定と予防法の開発	椎木 幾久子	寄附講座(分子代謝制御学講座)	130,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心原性脳塞栓予防につながる多領域複合的アプローチによる診断および治療法の構築	小室 拓也	病態検査学講座	130,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト培養細胞における一塩基編集技術の確立	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	3,000,000	(補 委)	公益財団法人武田科学振興財団
積層線維芽細胞シートによる肺切除後気管支断端橋瘻の予防	村上 順一	第一外科	2,000,000	(補 委)	公益財団法人テルモ生命科学振興財団

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
多発性硬化症患者血液脳関門破綻の遺伝性素因の解明	西原 秀昭	寄附講座(神経・筋難病治療学講座)	2,000,000	(補委)	公益財団法人上原記念生命科学財団
ミトコンドリア機能不全による織毛病発病機構の解明	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	2,000,000	(補委)	公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団
織毛コレステロール輸送におけるミトコンドリアの生理と病理	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	2,000,000	(補委)	公益財団法人小野医学研究財団
リアノジン受容体結合カルモジュリン制御による革新的心肥大・心不全治療	中村 吉秀	第二内科	2,000,000	(補委)	公益財団法人MSD生命科学財団
ヒトにおける糖代謝の概日リズムと時計遺伝子との関連性の検討	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,700,000	(補委)	公益財団法人鈴木万平糖尿病財団
うつ病に有効な運動療法の確立とその効果予測因子の同定	陳 冲	高次脳機能病態学講座	1,500,000	(補委)	公益財団法人中富健康科学振興財団
カテコラミン誘発性多型性心室頻拍の発症機序解明と治療法開発	山本 健	病態検査学講座	1,100,000	(補委)	公益財団法人宮田心臓病研究振興基金
人工知能(AI)技術を応用した免疫プロファイリングによる川崎病個別化医療システムの開発	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	1,100,000	(補委)	公益財団法人宮田心臓病研究振興基金
糖の流れの朝晩の違いとそのメカニズムの解明	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,000,000	(補委)	公益財団法人食生活研究会
血流停滞の予防と改善のための大麦の基礎研究	岸 博子	分子細胞生理学講座	1,000,000	(補委)	公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団
腫瘍および宿主両面からみた複合バイオマーカー探索にもとづく腫瘍個別化治療への展開	中島 正夫	第二外科	1,000,000	(補委)	公益財団法人大阪難病研究財団
オメガ3不飽和脂肪酸の実験的ぶどう膜炎(EAU)モデルにおける樹状細胞を介した抗炎症作用の検討	内 翔平	眼科	1,000,000	(補委)	公益財団法人日本応用酵素協会
心筋細胞内のカルモジュリンおよびカルシウム動態に注目した新しいHFpEF治療の探査	小田 哲郎	第二内科	1,000,000	(補委)	公益財団法人先進医薬研究振興財団
リアノジン受容体結合カルモジュリン制御による心肥大・心不全治療	中村 吉秀	第二内科	1,000,000	(補委)	公益財団法人先進医薬研究振興財団
がん発症・進展課程におけるYAPメカノホメオスターシスの力学的制御機構の同定	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医化学講座	1,000,000	(補委)	公益財団法人宇部興産学術振興財団
ニューロリハビリテーション応用のための精緻な運動学習メカニズムの解明	木田 裕之	神経生理学講座	1,000,000	(補委)	公益財団法人宇部興産学術振興財団
液-液相分離体/パラスペックルを介したPDZRN3による心筋分化制御機構の解明	本田 健	薬理学講座	1,000,000	(補委)	公益財団法人宇部興産学術振興財団
飲酒事案への応用をめざした呼気中アルコール動態モデルの検討	姫宮 彩子	法医学講座	1,000,000	(補委)	公益財団法人宇部興産学術振興財団
代謝異常による急性NASH及び続発的肝硬変/肝癌を発症する新たなマウスモデルの作製	太田 康晴	病態制御内科学講座	800,000	(補委)	公益社団法人日本糖尿病協会
HAP1遺伝子多型に着目した神経変性疾患発症リスク診断法の構築	野崎 香菜子	神経解剖学講座	500,000	(補委)	公益財団法人大阪難病研究財団

小計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
パンデミックインフルエンザ A(H1N1)pdm09感染による重症呼吸器 合併症における抗gE抗体療法の確立	坂田 恭史	小児科	500,000	(補) 委	公益財団法人森永奉仕会
Wfs1欠損によるβ細胞機能障害とイン クレチンの効果に関する研究	椎木 幾久子	寄附講座(分子代謝 制御学講座)	450,000	(補) 委	公益財団法人日本応用酵素協会

小計 2

合計 259

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Ishikawa T, Sasaki R, Nishimura T, 他	Department of Gastroenterology & Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Short-term Effects of Hepatic Arterial Buffer Responses Induced by Partial Splenic Embolization on the Hepatic Function of Patients with Cirrhosis According to the Child- Pugh Classification	Internal Medicine・ 2021 May 1	Article
2	Fujisawa K, Takami T, Shintani H, 他	Department of Liver regenerative medicine, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Japan	Seasonal variations in photoperiod affect hepatic metabolism of medaka (<i>Oryzias latipes</i>)	FEBS Open Bio・ 2021 Apr	Article
3	Ishikawa T, Sasaki R, Nishimura T, 他	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube- Yamaguchi, 7558505, Japan	Splenic non-infarction volume determines a clinically significant hepatic venous pressure gradient response to partial splenic embolization in patients with cirrhosis and hypersplenism	Journal of Gastroenterology・ 2021 Apr	Article
4	Suenaga S, Kaino S, Tsuyama T, 他	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate, School of Medicine, Ube, Japan; Department of Gastroenterology, Tokuyama Central Hospital, Shunan, Japan	EUS-guided antegrade metallic stent placement using the stent-in-stent method with a 6-Fr novel slim delivery system in a patient with malignant hilar biliary obstruction	Endoscopic Ultrasound・ 2021 Sep-Oct	Note
5	Ishikawa T, Sasaki R, Matsuda T, 他	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube- Yamaguchi, Japan; Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube-Yamaguchi, Japan	Successful Management With Dual Therapy of Lenvatinib and Macitentan for HCC With Portopulmonary Hypertension	Hepatology・ 2021 Oct	Article

6	Saeki I, Yamasaki T, Yamauchi Y, 他	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Skeletal Muscle Volume Is an Independent Predictor of Survival after Sorafenib Treatment Failure for Hepatocellular Carcinoma	Cancers • 2021 May 7	Article
7	Ishikawa T, Takami T.	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate, School of Medicine, Japan	Therapeutic Strategy Using Interventional Radiology for Refractory Esophageal Varices Resistant to Endoscopic Treatment	Internal Medicine • 2022 Mar 15	Editorial
8	Fujisawa K, Takami T, Okubo S, 他	Department of Liver Regenerative Medicine, School of Medicine, Yamaguchi University, Minami Kogushi 1-1-1, Yamaguchi, Ube, 755- 8505, Japan	Establishment of an Adult Medaka Fatty Liver Model by Administration of a Gubra-Amylin-Nonalcoholic Steatohepatitis Diet Containing High Levels of Palmitic Acid and Fructose	International Journal of Molecular Sciences • 2021 Sep 14	Article
9	Ishikawa T, Egusa M, Kawamoto D, 他	Department of Gastroenterology and Hepatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube- Yamaguchi, Japan	Screening for portopulmonary hypertension using computed tomography- based measurements of the main pulmonary artery and ascending aorta diameters in patients with portal hypertension	Hepatology Research • 2022 Mar	Article
10	Segawa M, Iizuka N, Ogihara H, 他	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Construction of a Standardized Tongue Image Database for Diagnostic Education: Development of a Tongue Diagnosis e- Learning System	• 2021.12	Article
11	Yosuke Miyazaki, Takashi Muramatsu, Taku Asano, 他	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	「Online three-dimensional OFDI-guided versus angiography-guided PCI in bifurcation lesions: design and rationale of the randomised OPTIMUM trial」	EuroIntervention • 2021.5	Article
12	Tokunaga Y, Sasaki T, Goto S, 他	Department of Immunology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine Yamaguchi, Japan	Enhanced Antitumor Responses of Tumor Antigen-Specific TCR T Cells Genetically Engineered to Produce IL7 and CCL19	Molecular Cancer Therapeutics • 2022 Jan	Article

13	Takeshita Y.	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	[Primary Central Nervous System Vasculitis]	· 2021 May	Review
14	Koga M.	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	[Sarcoidosis in Central Nervous System]	· 2021 May	Review
15	Kanda T, Iijima M, Sobue G.	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	[A Review of the History of CIDP Treatment: From Symptom Improvement to Maintenance Therapy- with a Focus on SCIg]	· 2021 Jul	Review
16	Sato R.	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	[Malignant Lymphoma Involving Peripheral Nervous System and Skeletal Muscle]	· 2021 Oct	Review
17	Takeshita Y, Fujikawa S, Serizawa K, 他	From the Department of Neurology and Clinical Neuroscience (Y.T., S.F., M.F., K.M., J.N., F.S., Y.S., T.K.), Yamaguchi University Graduate School of Medicine	New BBB Model Reveals That IL-6 Blockade Suppressed the BBB Disorder, Preventing Onset of NMOSD	Neurology(R) neuroimmunology & neuroinflammation · 2021 Nov	Article
18	Sano Y, Ota S, Oishi M, 他	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	A Japanese Patient with Hereditary Myopathy with Early Respiratory Failure Due to the p.P31732L Mutation of Titin	· 2021 Oct 19	Case report
19	Shimizu F, Ogawa R, Mizukami Y, 他	From the Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine (F.S., K.H., C.K., Y.T., Y.S., M.F., T. Maeda, T.K.), Ube	GRP78 Antibodies Are Associated With Blood-Brain Barrier Breakdown in Anti-Myelin Oligodendrocyte Glycoprotein Antibody-Associated Disorder	Neurology(R) neuroimmunology & neuroinflammation · 2022 Jan	Article

20	Koga M, Iijima M, Fukushima T, 他	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	[Treatment Options for Chronic Inflammatory Demyelinating Polyradiculoneuropathy (CIDP): With a Focus on Immunoglobulin Treatment]	· 2021 Nov	Review
21	Kanda T.	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	[Shostakovich and Right Hand Weakness]	· 2021 Dec	Review
22	Shimizu F, Nemoto J, Takeshita Y, 他	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	[Clinical and long-term characteristics of the subtypes of chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy]	· 2022 Mar 29	Original Article
23	Seira Hatake, Fumitaka Shimizu, Mariko Oishi, 他	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	An 18-year-old man of hereditary neuropathy with liability to pressure palsies presenting with bilateral brachial plexopathy during military training	· 2021 OCT 28	Case report
24	Hirano T, Matsunaga K, Oishi K, 他	Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami- kogushi, Ube, 755-8505, Japan	Abundant TNF-LIGHT expression in the airways of patients with asthma with persistent airflow limitation: Association with nitrative and inflammatory profiles	Respiratory Investigation· 2021 Sep	Article
25	Asami- Noyama M, Harada M, Murakawa K, 他	Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan	Non-pneumophila Legionella species pneumonia with orange-coloured sputum	Respirology Case Reports· 2021 Sep	Article
26	Hamada K, Oishi K, Murata Y, 他	Department of Respiratory Medicine and Infectious Disease, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, 1-1-1 Minami- kogushi, Ube, 755-8505, Japan	Feasibility of Discontinuing Biologics in Severe Asthma: An Algorithmic Approach	Journal of Asthma and Allergy· 2021 Dec	Article

27	Yamagata H, Kobayashi A, Tsunedomi R, 他	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Optimized protocol for the extraction of RNA and DNA from frozen whole blood sample stored in a single EDTA tube	Scientific Reports • 2021 Aug 23	Article
28	Chen C, Mochizuki Y, Hagiwara K, 他	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan	Regular Vigorous-Intensity Physical Activity and Walking Are Associated with Divergent but not Convergent Thinking in Japanese Young Adults	Brain Sciences • 2021 Aug 6	Article
29	Hagiwara K, Mochizuki Y, Chen C, 他	Division of Neuropsychiatry, Department of Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan	Nonlinear Probability Weighting in Depression and Anxiety: Insights From Healthy Young Adults	Frontiers in Psychiatry • 2022 Mar 24	Article
30	Yasudo H, Ando T, Maehara A, 他	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	A Possible Association Between a Nucleotide-Binding Domain LRR-Containing Protein Family PYD-Containing Protein 1 Mutation and an Autoinflammatory Disease Involving Liver Cirrhosis	Hepatology • 2021 Oct	Article
31	Yasudo H, Hasegawa S.	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	How could maternal allergies affect preterm outcomes in infancy?	Pediatrics International • 2021 Sep	Editorial
32	Matsuguma C, Takahashi K, Okada S, 他	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Severe persistent pulmonary hypertension in a neonate with Rubinstein-Taybi syndrome accompanied by triple X syndrome	Pediatrics and Neonatology • 2022 Mar	Letter

33	Okada S, Ohnishi Y, Furuta T, 他	Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Circulating immunocompetent cell profiles during oral cyclosporin therapy for immunoglobulin-resistant Kawasaki disease	World Journal of Pediatrics • 2021 Dec	Letter
34	Yasudo H, Ando T, Kitaura J, 他	Allergy Centre, National Centre for Child Health and Development, Tokyo, Japan; Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Predictive value of 7S globulin-specific IgE in Japanese macadamia nut allergy patients	Journal of Allergy and Clinical Immunology: In Practice • 2022 Jan 21	Article
35	Samura M, Morikage N, Hamano K.	Division of Vascular Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Response to the Comment on "Endovascular Aneurysm Repair With Inferior Mesenteric Artery Embolization for Preventing Type II Endoleak"	Annals of Surgery • 2021 Dec 1	Letter
36	Saito T, Hamano K, Sadoshima J.	Department of Surgery and Clinical Science, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi, Ube, Japan	Molecular mechanisms and clinical implications of multiple forms of mitophagy in the heart	Cardiovascular Research • 2021 Dec 17	Review
37	Murakami J, Wu L, Kohno M, 他	Latner Thoracic Surgery Research Laboratories, Toronto General Hospital Research Institute, University Health Network, Toronto, ON M5G 1L7, Canada; Department of Surgery and Clinical Science, Division of Chest Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Triple-modality therapy maximizes antitumor immune responses in a mouse model of mesothelioma	Science Translational Medicine • 2021 Apr 14	Article
38	Suehiro K, Fujita M, Morikage N, 他	Division of Vascular Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Acute and General Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine	Hyperbaric Oxygen Therapy Is an Effective Adjunctive Therapy to Manage Treatment-Resistant Venous Leg Ulcers	Annals of Vascular Diseases • 2021 Sep 25	Case Report

39	Ueno K, Ike S, Yamamoto N, 他	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Medical Education, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Freezing of cell sheets using a 3D freezer produces high cell viability after thawing	Biochemistry and Biophysics Reports • 2021 Dec	Article
40	Suehiro K, Mizumoto Y, Morikage N, 他	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine	Hardness Sensed by Skin Palpation in Legs with Lymphedema Is Predominantly Correlated with Dermal Thickening	Lymphatic Research and Biology • 2021 Nov 16	Article
41	Saito T, Kurazumi H, Suzuki R, 他	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan; Department of Molecular and Cellular Physiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Perivascular Adipose Tissue Is a Major Source of Nitric Oxide in Saphenous Vein Grafts Harvested via the No-Touch Technique	Journal of the American Heart Association • 2022 Feb	Article
42	Kurazumi H, Suzuki R, Shirasawa B, 他	Division of Cardiac Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Division of Cardiology, Department of Medicine and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine	Early and Long-Term Outcomes of Transcatheter Aortic Valve Replacement for Selected Nonagenarians in Japan	Circulation Journal • 2022 Feb 9	Article
43	Kurazumi H, Suzuki R, Nawata R, 他	Division of Cardiac Surgery, Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguch	Feasibility of open chest management with modified negative pressure wound therapy immediately after cardiac surgery	Interactive Cardio Vascular and Thoracic Surgery • 2022 Mar 8	Article

44	Suehiro K, Morikage N, Harada T, 他	Department of Surgery and Clinical Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Effects of leg compression and calf muscle contraction by active ankle motion on venous hemodynamics in sitting individuals	Phlebology • 2022 Mar 8	Article
45	Suzuki N, Yoshida S, Tomochika S, 他	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Determining the protective characteristics and risk factors for the development of anastomotic leakage after low anterior resection for rectal cancer	Surgery Today • 2021 May	Article
46	Matsukuma S, Nagano H, Kobayashi S, 他	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	The impact of peritoneal lavage cytology in biliary tract cancer (KHBO1701): Kansai Hepato-Biliary Oncology Group	Cancer Reports • 2021 Apr	Article
47	Matsukuma S, Tokumitsu Y, Nakagami Y, 他	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Laparoscopic resection reduces superficial surgical site infection in liver surgery	Surgical Endoscopy • 2021 Dec	Article
48	Matsui H, Hazama S, Nakajima M, 他	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Correction to: Novel adjuvant dendritic cell therapy with transfection of heat-shock protein 70 messenger RNA for patients with hepatocellular carcinoma: a phase I/II prospective randomized controlled clinical trial	Cancer Immunology, Immunotherapy • 2021 Apr	Erratum
49	Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsukuma S, 他	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Hepatic artery resection and reconstruction using the right gastroepiploic artery during pancreaticoduodenectomy in advanced pancreatic cancer	Langenbeck's Archives of Surgery • 2021 Sep	Article

50	Tomochika S, Suzuki N, Yoshida S, 他	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine; Shunan Memorial Hospital, Yamaguchi Prefecture, Japan	Laparoscopic Sutureless Rectopexy Using a Fixation Device for Complete Rectal Prolapse	Surgical laparoscopy, endoscopy & percutaneous techniques • 2021 May 21	Article
51	Nagano H.	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	The impact of genomic medicine on gastrointestinal cancer surgery	Annals of Gastroenterological Surgery • 2022 Jan	Editorial
52	Tsunedomi R, Yoshimura K, Kimura Y, 他	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Yamaguchi, Ube, 755-8505, Japan	Elevated expression of RAB3B plays important roles in chemoresistance and metastatic potential of hepatoma cells	BMC Cancer • 2022 Mar 11	Article
53	Nakajima M, Tokumitsu Y, Shindo Y, 他	Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	The Recent Development of the Surgical Treatment for Hepatocellular Carcinoma	Applied Sciences • 2021	Article
54	Imajo Y, Kanchiku T, Suzuki H, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Assessment of spinal cord relative vulnerability in C4-C5 compressive cervical myelopathy using multi-modal spinal cord evoked potentials and neurological findings	Journal of Spinal Cord Medicine • 2021 Jul	Article
55	Seki K, Ogasa H, Tokushige A, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Ultrasonography-detected synovitis of hand is associated with the presence of synovitis in the forefoot of patients with rheumatoid arthritis	Journal of Orthopaedic Science • 2021 Sep	Article
56	Imagama T, Nakashima D, Seki K, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan; Department of Orthopedic Surgery, St. Hill Hospital, Ube, Japan	Comparison of bacterial culture results of preoperative synovial fluid and intraoperative specimens in patients with joint infection	Journal of Infection and Chemotherapy • 2021 Apr	Article

57	Nishida N, Sakuramoto I, Fujii Y, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, Japan	Tensile mechanical analysis of anisotropy and velocity dependence of the spinal cord white matter: a biomechanical study	Neural Regeneration Research • 2021 Dec	Article
58	Mihara A, Kanchiku T, Imajo Y, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami-Kogushi, Ube, Yamaguchi, 755-8505, Japan	A rare case of epidural chordoma without bone involvement within the thoracic spinal canal: A case report with a review of literature	Journal of Orthopaedic Science • 2021 May 22	Article
59	Imagama T, Seki K, Seki T, 他	Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, 7558505, Japan	Low frequency of local findings in periprosthetic hip infection caused by low-virulent bacteria compared to periprosthetic knee infection	Scientific Reports • 2021 Jun 3	Article
60	Funaba M, Kanchiku T, Yoshida G, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University, Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Efficacy of Intraoperative Neuromonitoring Using Transcranial Motor-Evoked Potentials for Degenerative Cervical Myelopathy: A Prospective Multicenter Study by the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research	Spine • 2022 Jan 1	Article
61	Nishida N, Izumiyama T, Asahi R, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi Prefecture, Ube City, Japan	Analysis of individual differences in pelvic and spine alignment in seated posture and impact on the seatbelt kinematics using human body model	PLoS ONE • 2021 Jul	Article
62	Funaba M, Imajo Y, Suzuki H, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Impact of various MRI signal intensity changes on radiological parameters, the neurological status, and surgical outcomes in degenerative cervical myelopathy	Clinical Neurology and Neurosurgery • 2021 Aug	Article

63	Suzuki H, Sakai T.	Department of Orthopedics Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, 755-8505, Japan	Current Concepts of Stem Cell Therapy for Chronic Spinal Cord Injury	International Journal of Molecular Sciences • 2021 Jul 11	Review
64	Imajo Y, Nishida N, Funaba M, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	The reference intervals of intraoperative posterior tibial nerve somatosensory evoked potentials	Journal of Orthopaedic Science • 2021 Jul 27	Article
65	Sakai T.	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-, Minami-Kogushi, Ube, 755-8505, Japan	CORR Insights®: Adverse Local Tissue Reactions are Common in Asymptomatic Individuals After Hip Resurfacing Arthroplasty: Interim Report from a Prospective Longitudinal Study	Clinical Orthopaedics and Related Research • 2021 Dec 1	Note
66	Mihara A, Yukata K, Seki T, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, 755-8505, Japan	Effects of sclerostin antibody on bone healing	World Journal of Orthopedics • 2021 Sep 18	Article
67	Funaba M, Imajo Y, Suzuki H, 他	Department of Orthopedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Radiological factors associated with the severity of corticospinal tract dysfunctions for cervical spondylotic myelopathy: An analysis of the central motor conduction time and kinematic CT myelography	Journal of Clinical Neuroscience • 2021 Dec	Article
68	Yukata K, Uchiyama Y, Nishida N, 他	Department of Orthopaedic Surgery, Ogori Daiichi General Hospital, Yamaguchi, Japan; Department of Orthopaedic Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Ube, Japan	Greater Trochanteric Fracture with Lesser Trochanter Extension: A Report of 2 Cases and CT-Based Finite Element Analysis	JBJS Case Connector • 2021 Aug 12	Article

69	Suzuki H, Imajo Y, Funaba M, 他	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan	Current Concepts of Neural Stem/Progenitor Cell Therapy for Chronic Spinal Cord Injury	Frontiers in Cellular Neuroscience • 2022 Feb 3	Review
70	Funaba M, Imajo Y, Suzuki H, 他	Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan	The associations between radiological and neurological findings of degenerative cervical myelopathy: radiological analysis based on kinematic CT myelography and evoked potentials of the spinal cord	J Neurosurg Spine • 2021 Jil 9	Article
71	Yasuno S, Ansai O, Hayashi R, 他	Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Evidence for a dominant-negative effect of a missense mutation in the SERPING1 gene responsible for hereditary angioedema type I	Journal of Dermatology • 2021 Aug	Article
72	Asano N, Yasuno S, Hayashi R, 他	Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Characterization of EDARADD gene mutations responsible for hypohidrotic ectodermal dysplasia	Journal of Dermatology • 2021 Oct	Article
73	Shimomura Y.	Department of Dermatology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Welcome to the hair world!	Journal of Dermatology • 2022 Jan	Editorial
74	Takasu H, Yagi S, Taguchi S, 他	Department of Plastic Surgery, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan	Lower Eyelid Reconstruction Using a Myotarsocutaneous Flap while Considering the Superior and Inferior Palpebral Sulci	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open • 2022 Mar	Case Report

75	Shiraishi K.	Department of Urology, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Japan	Genome medicine in male infertility: From karyotyping to single-cell analysis	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research* 2021 Aug	Review
76	Shiraishi K, Takahara H, Matsuyama H.	Department of Urology, Yamaguchi University School of Medicine, Ube, Yamaguchi, Japan	Testicular Temperature and the Effects of Orchiopexy in Infants with Cryptorchidism	The Journal of urology* 2021 Oct	Article
77	Kobayashi K, Matsuyama H, Kawai T, 他	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan	Bladder cancer prospective cohort study on high-risk non-muscle invasive bladder cancer after photodynamic diagnosis-assisted transurethral resection of the bladder tumor (BRIGHT study)	International Journal of Urology* 2022 Mar 15	Article
78	Tabara M, Shiraishi K, Takii R, 他	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan;	Testicular localization of activating transcription factor 1 and its potential function during spermatogenesis.	Biology Reproduction* 2021 Oct 11	Article
79	Nagamitsu R, Shiraishi K, Tabara M, 他	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan;	Effect of tyrosine kinase inhibitors and immune checkpoint inhibitors on spermatogenesis in humans.	International Journal of Urology.* 2021 Oct	Article
80	Mori JI, Adachi K, Sakoda Y, 他	Departments of Urology, Immunology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan;	Anti-tumor efficacy of human anti-c-met CAR-T cells against papillary renal cell carcinoma in an orthotopic model.	Cancer Science.* 2021 Apr	Article
81	Samoto M, Matsuyama H, Matsumoto H, 他	Departments of Urology, Immunology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan;	Novel bone microenvironment model of castration-resistant prostate cancer with chitosan fiber matrix and osteoblasts.	Oncology Letter* 2021 Oct	Article

82	Inoue R, Isoyama N, Ozawa S, 他	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan;	Endoscopic laser treatment for urine leakage caused by an isolated calyx after robot-assisted partial nephrectomy.	IJU case Reports • 2021 Sep	Case report
83	Shimizu K, Inoue R, Tomochika S, 他	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan;	Mucin-producing urothelial- type adenocarcinoma of the prostate diagnosed after robot-assisted radical prostatectomy	IJU case Reports • 2022 January	Case report
84	Matsuyama H. Shiota M. Tashiro K. 他	Department of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Kyushu University, Fukuoka, Japan; Jikei Medical University, Tokyo, Japan	Phase II study of the efficacy of abiraterone acetate with dutasteride for castration-resistant prostate cancer.	Journal of Clinical Oncology •	Proceedi ng
85	Uchi SH, Yanai R, Tsuneoka H, 他	Ophthalmology; Clinical Laboratory Science, Faculty of Health Science, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Yamaguchi, Japan	A CASE OF CAT SCRATCH DISEASE DIAGNOSED BY INDIRECT FLUORESCENT ANTIBODY ASSAY OF IgM SPECIFIC FOR A JAPANESE STRAIN OF Bartonella henselae	Retinal cases & brief reports • 2021 Sep 1	Article
86	Tanabe M, Higashi M, Yonezawa T, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Feasibility of high-resolution magnetic resonance imaging of the liver using deep learning reconstruction based on the deep learning denoising technique	Magnetic Resonance Imaging • 2021 Jul	Article
87	Kameda F, Tanabe M, Higashi M, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	The extracellular volume fraction of the pancreas measured by dual-energy computed tomography: The association with impaired glucose tolerance.	European Journal of Radiology • 2021 Aug	Article
88	Tanabe M, Higashi M, Benkert T, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Reduced Field-of-View Diffusion-Weighted Magnetic Resonance Imaging of the Pancreas With Tilted Excitation Plane: A Preliminary Study	Journal of Magnetic Resonance Imaging • 2021 Sep	Article

89	Kunihiro Y, Tanaka N, Kawano R, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Differentiation of pulmonary complications with extensive ground-glass attenuation on high-resolution CT in immunocompromised patients	Japanese Journal of Radiology* 2021 Sep	Article
90	Ihara K, Onoda H, Tanabe M, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Hemodynamic changes of abdominal organs after CT colonography with transrectal administration of CO2: evaluation with early-phase contrast-enhanced dynamic CT.	Japanese Journal of Radiology* 2021 Sep	Article
91	Tanabe M, Tanabe M, Furukawa M, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Assessment of the relationship between the hepatic contrast enhancement effect in the hepatobiliary phase and hepatic signal changes in free-breathing continuous multiphasic dynamic EOB-MRI.	European Journal of Radiology* 2021 Nov	Article
92	Higashi M, Tanabe M, Ihara K, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Pancreatobiliary Flow Dynamics: Association Between Bile and Pancreatic Juice Evaluated With Cine-Dynamic Magnetic Resonance Cholangiopancreatography Using Spatially Selective Inversion Recovery Pulse.	Journal of Magnetic Resonance Imaging* 2021 Dec	Article
93	Onoda H, Tanabe M, Higashi M, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Assessment of gastric wall structure using ultra-high-resolution computed tomography.	European Journal of Radiology* 2022 Jan	Article
94	Higashi M, Tanabe M, Yonezawa T, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	The pancreatic exocrine function in patients with pancreatic endocrine insufficiency: the evaluation with cine-dynamic magnetic resonance cholangiopancreatography using a spatially selective inversion-recovery pulse and T1 mapping.	Japanese Journal of Radiology* 2022 Mar 2	Article

95	Kunihiro Y, Tanaka N, Kawano R, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	High-resolution CT findings of pulmonary infections in patients with hematologic malignancy: comparison between patients with or without hematopoietic stem cell transplantation	Japanese Journal of Radiology* 2022 Mar 14	Article
96	Higashi M, Tanabe M, Ihara K, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Bile Flow Dynamics in Patients with Cholelithiasis: An Evaluation with Cine- Dynamic Magnetic Resonance Cholangiopancreatography Using a Spatially Selective Inversion-Recovery Pulse.	Tomography* 2022 Mar 16	Article
97	Ito K.	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minamikogushi, Yamaguchi, Ube, 755- 8505, Japan	US-derived Fat Fraction Screening of Hepatic Steatosis	Radiology* 2022 Mar 29	Editorial
98	Tanabe M, Onoda H, Higashi M, 他	Department of Radiology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Three-Dimensional (3D) Breath-Hold Zoomed MR Cholangiopancreatography (MRCP): Evaluation of Additive Value to Conventional 3D Navigator Triggering MRCP in Patients With Branch Duct Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms	Journal of Magnetic Resonance Imaging* 2022 Apr	Article
99	Tanaka H, Ono T, Manabe Y, 他	Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Japan	Anemia is a Prognostic Factor for Overall Survival Rate in Patients with Non- Small Cell Lung Cancer Treated with Stereotactic Body Radiation Therapy	* 2021 Sep 27	Article

100	Shiinoki T, Fujimoto K, Kawazoe Y, 他	Department of Radiation Oncology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University	Predicting programmed death–ligand 1 expression level in non–small cell lung cancer using a combination of peritumoral and intratumoral radiomic features on computed tomography	Biomedical Physics & Engineering Express • 2022	Original Article
101	Murata S, Matsumoto R, Nishimura H, 他	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	A case of total hysterectomy due to massive maternal bleeding immediately after fetoscopic laser surgery for twin–twin transfusion syndrome	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research • 2021 Jun	Article
102	Tamura I, Tamura H, Kawamoto– Jozaki M, 他	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Long–term melatonin treatment attenuates body weight gain with aging in female mice	Journal of Endocrinology • 2021 Jul 22	Article
103	Shirafuta Y, Tamura I, Ohkawa Y, 他	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, 755–8505, Japan	Integrated Analysis of Transcriptome and Histone Modifications in Granulosa Cells During Ovulation in Female Mice	Endocrinology (United States) • 2021 Sep 1	Article
104	Tamura I, Kawamoto– Jozaki M, Fujimura T, 他	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Relationship between follicular size and developmental capacity of oocytes under controlled ovarian hyperstimulation in assisted reproductive technologies	Reproductive Medicine and Biology • 2021 Jul	Article
105	Tamura I, Fujimura T, Doi–Tanaka Y, 他	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	The essential glucose transporter GLUT1 is epigenetically upregulated by C/EBP β and WT1 during decidualization of the endometrium	Journal of Biological Chemistry • 2021 Oct	Article

106	Takagi H, Tamura I, Fujimura T, 他	Department of Obstetrics and Gynecology, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Transcriptional coactivator PGC-1 α contributes to decidualization by forming a histone-modifying complex with C/EBP β and p300.	J Biol Chem • 2022 Mar	Article
107	Kawano A, Sugimoto K, Nomura S, 他	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, Yamaguchi, Japan	Association Between Spreading Depolarization and Delayed Cerebral Ischemia After Subarachnoid Hemorrhage: Post Hoc Analysis of a Randomized Trial of the Effect of Cilostazol on Delayed Cerebral Ischemia	Neurocritical Care • 2021 Oct	Article
108	Moriyama H, Nomura S, Imoto H, 他	Departments of Neurosurgery, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Ube, Japan; Epilepsy Center, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan	Suppressive Effects of Transient Receptor Potential Melastatin 8 Agonist on Epileptiform Discharges and Epileptic Seizures	Frontiers in Pharmacology • 2021	Article
109	Nishimoto T, Oka F, Okazaki K, 他	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Relationship between cerebral hyperperfusion syndrome and the immediate change of cerebral blood flow after carotid artery stenting evaluated by single-photon emission computed tomography	Neuroradiology • 2021 Nov 23	Article
110	Miwa Kiyohira, Eiichi Suehiro, Mizuya Shinoyama, 他	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	Combined strategy of burr hole surgery and elective craniotomy under intracranial pressure monitoring for severe acute subdural hematoma.	Neurologia Medico- chirurgica • 2021	Article
111	Sadahiro Nomura, Takao Inoue, Hirochika Imoto, 他	Department of Neurosurgery, Yamaguchi University School of Medicine, 1-1-1, Minamikogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan	A focal brain-cooling device as an alternative to electrical stimulation for language mapping during awake craniotomy: patient series.	Journal of Neurosurgery Case Lessons • 2021	Article

112	Fujita M, Todani M, Kaneda K, Suzuki S, 他	Acute and General Medicine, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan	Use of hyperbaric oxygen therapy for preventing delayed neurological sequelae in patients with carbon monoxide poisoning: A multicenter, prospective, observational study in Japan	PLoS ONE・ 2021	Article
113	Koga Y, Kaneda K, Fujii N, 他	Advanced Medical Emergency and Critical Care Center, Yamaguchi University Hospital, Ube, Japan	Association between increased nonaerated lung weight and treatment failure in patients with de novo acute respiratory failure: Difference between high- flow nasal oxygen therapy and noninvasive ventilation in a multicentre retrospective study	Journal of Critical Care・ 2021 Oct	Article

計 113 件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	岩永隆太、 三原惇史、 坂井孝司、 村松慶一	山口大学大学院整形外科 学講座	軟部転移7例の経験	整形外科と災害外科・ 2021.9	Article
2	三原惇史、 岩永隆太、 村松慶一、 伊原公一 郎、坂井孝 司	山口大学大学院整形外科 学講座	神経内ガングリオンに対す る関節枝切離を加えた被膜 切開排液術の治療成績	整形外科と災害外科・ 202109	Article
3	岩永隆太、 三原惇史、 坂井孝司、 村松慶一	山口大学大学院整形外科 学講座	軟部腫瘍と鑑別を要した動 脈瘤の2例	整形外科と災害外科・ 2022.3	Article

4	下村裕	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	円形脱毛症の病態と治療	日本皮膚科学会雑誌・2021.4	総説
5	下村裕	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	先天性無汗症	MB Derma・2021.5	総説
6	下村裕	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	遺伝性毛髪疾患の形態学および遺伝学	皮膚病診療・2021.1	総説
7	下村尚子、田中由華、磯山直仁、原田栄二郎、下村裕	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	膜性腎症を合併した大腸癌術後に改善した硬化性脂肪織炎の1例	臨床皮膚科・2022.2	症例報告
8	橋本 誠, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	めまい平衡検査の原点から現状、そして未来へ 電気刺激検査	Equilibrium Research・2021.4	Article
9	山本陽平, 菅原一真, 橋本 誠, 岩本文, 松浦貴文, 沖中洋介, 坂本めい, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	当科で経験した小児の外耳道軟骨腫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科・2021.5	Article
10	橋本 誠, 沖中洋介, 菅原一真, 池田卓生, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	リアルタイム三次元解析可能なVideoculography	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報・2021.8	Article
11	津田潤子, 橋本 誠, 廣瀬 敬信, 竹本 洋介, 山下裕司	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	咽喉頭血管奇形4症例に対する診断および加療の検討	日本気管食道科学会会報・2021.12	Article

12	竹本洋介, 菅原一真, 橋本 誠, 坂 本知美, 山 本陽平, 沖 中洋介, 山 下裕司	山口大学大学院医学系研 究科耳鼻咽喉科学	化学放射線療法による口内 炎に対する半夏瀉心湯の効 果	耳鼻咽喉科・頭頸部外 科・ 2022.1	Article
13	山本陽平, 菅原一真, 橋本 誠, 山 下裕司	山口大学大学院医学系研 究科耳鼻咽喉科学	鼓膜原発と考えられた中耳 カルチノイドの1例	耳鼻咽喉科・頭頸部外 科・ 2022.3	Article
14	藤山 雄一	山口大学脳神経外科	頭部外傷例における Paroxysmal sympathetic hyperactivityの実態 山口 大学脳神経外科の経験	山口医学・ 2021	原著
15	貞廣浩和, 杉本至健, 岡 史朗, 石原秀行	山口大学脳神経外科	鎖骨下動脈・腕頭動脈に対 する経皮的血管形成術中の リアルタイム椎骨動脈エコー	Neurosonology・ 2021	原著
16	石原秀行, 岡 史朗, 西本拓真, 岡崎光希, 杉本至健	山口大学脳神経外科	末梢血管の治療戦略③ 中 血管閉塞(MeVOs)に対する 急性期再開通療法	脳神経外科速報・ 2021	総説

17	有馬 秀樹, 豊田 貴美子, 越智 文也, 幸田 恭治, 北原 隆志	山口大学医学部附属病院 薬剤部	病棟薬剤師による使用成績調査支援業務における、調査対象患者への説明の必要性の検討	九州薬学会雑誌・ 2021.1	原著論文
18	松井 頌明, 幸田 恭治, 石原 慎之, 玉木 宏樹, 矢野 貴久, 直良 浩司, 北原 隆志	山口大学医学部附属病院 薬剤部	国内医薬品副作用データベースに基づく分子標的抗がん薬による甲状腺機能障害の発現状況評価	医療薬学・ 2021.8	原著論文
19	高砂 美和子, 税所 篤行, 若林 和貴, 秋山 真里, 藤井 優子, 關友 恵, 幸田 恭治, 松永 和人, 北原 隆志	山口大学医学部附属病院 薬剤部	転倒転落予防を目的とした不眠時指示薬標準化のための睡眠導入剤使用フローチャートの評価	医療薬学・ 2021.7	原著論文
20	税所 篤行, 高砂 美和子, 若林 和貴, 秋山 真里, 幸田 恭治, 高崎 彰久, 松永 和人, 石田 博, 北原 隆志	山口大学医学部附属病院 薬剤部	転倒転落予防を目的とした不眠時指示薬標準化における薬剤経済学的評価	薬学雑誌・ 2021.7	原著論文

計 20 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 目的・適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に 則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年13回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年16回
・ 研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針・臨床研究法について、申請手続きについて、IRB審査について、人医学系研究に係る利益相反について 等	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院では各診療科長の統括管理の下に専門研修を行っており、本院を基幹施設とし、山口県内の各医療圏の中核病院を主な連携施設として専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャリティ専門医まで取得できるように体系的な専門研修プログラムを策定している。

また、大学病院や地域中核病院での数多くの症例経験を通じ、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力（知識及び技能）の育成を図っている。

さらに、本院では専門研修を行いつつ山口大学大学院医学系研究科に進学して学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成も推進している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	57 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
高見 太郎	第一内科	科長	23年	内科
矢野 雅文	第二内科	科長	38年	内科
太田 康晴	第三内科	副科長	28年	内科
古賀 道明	脳神経内科	副科長	28年	内科
松永 和人	呼吸器・感染症内科	科長	31年	内科
長谷川 俊史	小児科	科長	31年	小児科
下村 裕	皮膚科	科長	23年	皮膚科
中川 伸	精神科神経科	科長	32年	精神科
濱野 公一	第一外科	科長	36年	外科
永野 浩昭	第二外科	科長	36年	外科
坂井 孝司	整形外科	科長	28年	整形外科
杉野 法広	産科婦人科	科長	37年	産婦人科
木村 和博	眼科	科長	27年	眼科
山下 裕司	耳鼻咽喉科	科長	37年	耳鼻咽喉科
白石 晃司	泌尿器科	科長	27年	泌尿器科
石原 秀行	脳神経外科	科長	30年	脳神経外科
伊東 克能	放射線科	科長	34年	放射線科
田中 秀和	放射線治療科	科長	16年	放射線科
松本 美志也	麻酔科蘇生科	科長	37年	麻酔科
池田 栄二	病理形態学	教授	36年	病理
山崎 隆弘	検査部	部長	35年	臨床検査
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	31年	救急科
野垣 宏	地域・老年看護学	教授	40年	リハビリテーション科
黒川 典枝	総合診療部	部長	37年	総合診療
高須 啓之	形成外科	科長	16年	形成外科
三島 克章	歯科口腔外科	科長	32年	歯科口腔外科

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【薬剤部】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新人教育研修(病院薬剤師の役割、薬剤部の構成、オリエンテーション)	2021/4/1	2
新人教育研修(薬剤部紹介)	2021/4/1	2
新人教育研修(講義:調剤)	2021/4/2、5、6、7	2
新人教育研修(講義:注射調剤)	2021/4/8、9、12、13	2
新人教育研修(講義:医療安全)	2021/4/14	2
新人教育研修(講義:情報セキュリティ)	2021/4/15	2
新人教育研修(講義:薬務)	2021/4/16	2
新人教育研修(講義:麻薬・薬品管理)	2021/7/1	2
新人教育研修(講義:治験)	2021/7/2	2
新人教育研修(講義:DI)	2021/7/5	2
新人教育研修(講義:製剤)	2021/7/12	2
薬物治療勉強会(精神疾患)	2021/6/3	8
薬物治療勉強会(免疫疾患)	2021/7/1	11
薬物治療勉強会(心臓・血管系疾患)	2021/7/15	10
薬物治療勉強会(産科婦人科疾患)	2021/8/19	8
薬物治療勉強会(呼吸器疾患)	2021/9/2	11
薬物治療勉強会(血液および造血器疾患)	2021/10/7	7
薬物治療勉強会(内分泌・代謝疾患)	2021/10/21	8
薬物治療勉強会(皮膚疾患)	2021/11/4	5

【検査部】

<院内>

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新採用者研修・オリエンテーション	2021年4月1日	6
検査部・輸血部・病理診断科 ISO15189 内部監査の講習会	2022年3月30日	60

<院外>

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
The Echo WEB お花見フェス 『心電図異常で依頼される心エコーをどう撮るか』	2021年4月11日	3

第2回感染症領域検査研究会	2021年4月16日	6
アークレイ臨床検査セミナー2021 大阪	2021年4月23日	3
感染症インターネット講演会	2021年4月26日	7
臨床生理検査部門研修会(肺機能検査の基礎 -精度管理、その先へ-)	2021年5月8日	3
第2回山口県がんゲノム医療研修会	2021年5月14日	5
第70回日本医学検査学会	2021年5月15日	30
尿検査カスタマーレニングライブ研修会	2021年5月18日	4
シスメックス Hemostasis Seminar LIVE	2021年5月19日	6
検査技師のための CML WEB seminar	2021年5月21日	3
bioMerieux Syndromic symposium	2021年5月22日	5
第2回オンライン・『SEKISUI 塾』	2021年5月26日	6
ARNI Echo Live Symposium	2021年5月27日	6
第1回臨床一般セミナー	2021年5月29日	3
Diagnosis Seminar in Bone Marrow Failure	2021年6月10日	5
感染症Virtual Meeting	2021年6月10日	5
第11回 KYUSHU 心血管超音波セミナー	2021年6月12日	3
CANON メディカルシステム共催 心エコー判読指南	2021年6月16日	3
リソゾーム・ファブリー病 疾患と治療	2021年6月24日	4
USC 研修会 2021	2021年6月26日	3
みなとみらいフォーラム 2021 第2回	2021年7月2日	3
山口県臨床検査技師会 新人研修会	2021年7月4日	5
2021 中国地区 BM ユーザー会	2021年7月9日	5
第101回山口県臨床細胞学会学術集会・総会	2021年7月11日	6
みなとみらいフォーラム 2021 第3回	2021年7月16日	3
宇部支部研修会 7/17, 11/12, 2/25	2021年7月17日	13
シスメックスヘマトロジーセミナー<東日本>	2021年7月17日	5
山口県臨床検査技師会 臨床血液部門研修会	2021年7月18日	12
Hematology seminar LIVE	2021年7月21日	12
山口県臨床検査技師会 臨床微生物部門 Web 研修会	2021年7月25日	6
「RNA Day」qPCR & Microarray による遺伝子発現解析オンラインセミナー	2021年7月30日	4
みなとみらいフォーラム 2021 第4回	2021年7月30日	3
肝疾患に伴う肺高血圧症 WEB セミナー in 広島	2021年8月5日	3
山口心血管エコー研究会共催講演会	2021年8月7日	3
第4回こどもの血液培養と菌血症セミナー	2021年8月8日	4
みなとみらいフォーラム 2021 第5回	2021年8月20日	3
【栄研化学】一般検査セミナー in 関西	2021年8月21日	3
第16回血液内科研修医セミナー	2021年8月21日	3
第60回有明セミナー	2021年8月26日	4
FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイルについて	2021年8月27日	4
令和3年度認定一般検査技師育成研修会(その他の材料編)	2021年9月1日	4
みなとみらいフォーラム 2021 第6回	2021年9月3日	3
シスメックス血栓止血セミナー<東日本>	2021年9月4日	4
基礎から確認! 困った時の輸血検査の進め方	2021年9月5日	3
Lymphoma Zoom Seminar	2021年9月6日	5
第22回日本検査血液学会学術集会	2021年9月11日	5
一般検査セミナー' EIKEN'2021	2021年9月13日	3
BD Bruker MALDI バイオタイパー-sirius システム Web セミナー	2021年9月14日	5
ファディア 200/250 説明会	2021年9月15日	4

9月16日感染症セミナー2021	2021年9月16日	5
第9回止血異常懇話会	2021年9月18日	3
いまさら聞けない精度管理の基本	2021年9月25日	3
令和3年度 中四国支部 微生物研修会	2021年10月1日	5
ウリナリスセミナー	2021年10月2日	3
ARNI Echo Live Symposium Soocial Edition	2021年10月5日	3
血友病クリニカルセミナー2021	2021年10月8日	4
FoundationOne Liquid 発売記念講演会 in 山口	2021年10月11日	4
山口県臨床検査技師会臨床血液部門研修会	2021年10月16日	5
山口県心エコーレクチャーミーティング	2021年10月22日	3
Hemlibra 発売3周年記念講演会 in 山口	2021年10月26日	5
第67回山口県医学検査学会	2021年10月30日	18
Multiple Myeloma Web Seminar in Yamaguchi	2021年11月9日	4
Malignant Lymphoma Seminar in Yamaguchi	2021年11月11日	5
第68回日本臨床検査医学会学術集会	2021年11月11日	6
Hematology Upfront Seminar in Hiroshima	2021年11月12日	3
血栓止血勉強会 from 堺	2021年11月17日	4
第12回神戸循環器画像診断研究会	2021年11月17日	3
第2回WebStudy2021Fy	2021年11月18日	3
栗原中央病院感染対策研修会	2021年11月18日	3
造血幹細胞移植推進地域拠点病院ベーシック Web セミナー	2021年11月27日	5
第9回シスメックス横浜セミナー	2021年11月27日	3
シスメックスヘマトロジーセミナー東日本	2021年11月27日	4
山口県臨床検査技師会染色体・遺伝子部門 Web 研修会	2021年11月28日	3
第32回山口血液疾患研究会	2021年11月29日	3
特発性血栓症の臨床	2021年12月2日	4
心不全治療セミナー	2021年12月2日	4
第54回中四国支部医学検査学会	2021年12月3日	12
2021年度日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第54回)	2021年12月3日	5
CLL 治療セミナー2021in 山口	2021年12月6日	4
デジタル脳波の活かし方	2021年12月10日	3
第15回全国国立大学臨床検査技師会中国四国地区研修会	2021年12月11日	13
山口県臨床検査技師会臨床一般部門研修会	2021年12月12日	3
パワーアップ Web セミナー【感染症編】	2021年12月15日	4
Meiji Seika ファルマ Web カンファレンス	2021年12月15日	7
世界血栓症デー2021WEB 講演会 新型コロナウイルス感染症-抗体から血栓症、ワクチンまで-	2021年12月20日	3
一般検査セミナー EIKEN 2021	2022年1月1日	3
第10回検査血液 Zoom 同好会	2022年1月13日	4
第4回オンライン「SEKISUI 塾」	2022年1月19日	3
山口消化器癌セミナー	2022年1月21日	5
シスメックスユリナリスセミナー	2022年1月22日	5
日本血液同好会(第415回)	2022年1月26日	3
山口県臨床検査技師会臨床生理部門研修会	2022年1月30日	4
令和3年度肝疾患コーディネーター研修会	2022年2月5日	4
血友病・フォンヴィレブランド病 WEB 講演会	2022年2月8日	3
第18回合同地方会	2022年2月10日	6
第6回 九州 MALDI-TOF MS セミナー	2022年2月12日	4

令和三年度中四国支部生物化学部門研修会	2022年2月14日	7
山口県臨床検査技師会臨床微生物部門 Web 研修会	2022年2月20日	5
炎症性腸疾患(IBD)セミナーin 広島	2022年2月24日	3
中四国エリア CP ユーザー会	2022年2月26日	4
第14回香川灯の会 かがわ血液形態カンファレンス	2022年2月26日	4
新型コロナウイルス感染症クラスター対策講演会	2022年2月27日	3
脳死判定研修会	2022年3月4日	4
第3回ニッスイ近畿感染症セミナー	2022年3月5日	4
広島神経生理セミナー	2022年3月11日	3
第8回 GC 研究会	2022年3月12日	4
第104回山口県臨床細胞学会学術集会	2022年3月13日	4
第20回日本検査血液学会冬季セミナー	2022年3月13日	3
微生物フォーラム 2022EIKEN	2022年3月14日	5
第61回日本血液学会中国四国地方会	2022年3月19日	6
回日本血液同好会(第416回)	2022年3月23日	3
腹腔内膿瘍感染における抗菌薬適正使用	2022年3月24日	3
WEB 第10回瀬戸内血液研修会	2022年3月27日	6

【看護部】

【看護部／対象：新採用者】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数	
		新人	既卒
新採用者研修・オリエンテーション	2021/4/1.2.5	71	7
技術演習① 感染対策	2021/4/5	71	6
技術演習② 体位変換・移送・移乗	2021/4/5	71	6
新人サポート研修 コミュニケーション I	2021/4/5	71	6
電子カルテシステム	2021/4/6、7、8	71	6
医療安全に関する研修 I リスクマネジメントマニュアルを知ろう	2021/4/6、7	71	7
静脈注射 知識編 I、「静脈注射の基礎知識」	2021/4/6、7	71	7
看護倫理(看護師の自覚と責任)	2021/4/7、8	71	6
看護記録 I ～看護記録の基礎～	2021/4/7、8	71	7
褥瘡予防ケア	2021/4/8	71	7
内服薬・貼付剤・外用薬の知識	2021/4/8	71	7
技術演習③ 輸液管理	2021/4/17	70	3
技術演習④ 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理	2021/4/17	71	3
新人サポート研修 社会人基礎力	2021/4/17	70	2
防火訓練	2021/4/27	71	7
酸素吸入療法	2021/4/27	71	3
技術演習⑤ 静脈血採血	2021/5/15	70	3
技術演習⑥ 皮下注射・筋肉内注射	2021/5/15	70	3
静脈注射 知識編 II ①「インスリンの知識と管理」	2021/5/15	70	4
技術演習⑦ 導尿・膀胱留置カテーテルの挿入と管理・洗腸	2021/5/29	68	2
技術演習⑧ 吸引・吸入	2021/5/29	68	1
メンタルヘルス	2021/5/29	68	1
医材センター研修	2021/6/12	68	7

技術演習⑨ 経管栄養管理	2021/6/12	68	1
技術演習⑩ 多重課題シミュレーション I	2021/6/12	68	2
2か月目のふりかえり	2021/6/16	69	5
技術演習⑪ フィジカルアセスメント I	2021/6/30	66	2
技術演習⑫ 急変対応を学ぶ	2021/7/13	68	4
技術演習⑬ 静脈留置針の挿入	2021/8/4	67	2
看護必要度研修(新人編)	2021/8/17	67	2
技術演習⑭ 心電図モニター・12誘導	2021/9/1	68	3
静脈注射 知識編Ⅱ② 「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」「ハイリスク注射薬の知識と管理」	2021/9/6、10	67	3
6か月目のふりかえり	2021/9/24	65	1
静脈注射 知識編Ⅲ、「抗がん剤の知識と管理」	2021/10/6、15	67	5
静脈注射 知識編Ⅳ、「輸血の知識と管理」	2021/10/22、29	67	3
人工呼吸器の基礎知識	2021/11/1、4	67	1
フォローアップデー	2021/11/30、12/1	52	1
医療安全に関する研修Ⅱ リスク感性を高めよう:KYT	2021/12/10、24	67	1
看取りの看護 ～逝去時の看護手順～	2021/12/17	66	2
1年の振り返り	2022/3/3	65	1

【看護部／対象：ラダーⅡを目指す人】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
静脈注射 知識編Ⅴ 静脈注射にまつわるインシデント CVポートの知識と管理	2021/6/2	83
フィジカルアセスメントⅡ ～変化を予測した情報収集のためのイグザミネーション～	2021/7/7、21	67
看護記録Ⅱ ～看護過程と看護記録～	2021/12/6	67
チームワークで問題解決	2022/1/14、28	65
フィジカルアセスメントⅢ ～状態に気づくためのアセスメント～	2021/8/2、18	66
倫理的であたかな対応ってどうしたらいいの？	2021/11/19、12/2	69
プリセプター研修②	2021/6/3	44
プリセプター研修③	2022/2/3	37
プリセプター研修①(2022年度)	2022/3/1	40
看護研究① 研究テーマの決め方 文献検索の方法	2021/6/7	37
看護研究② クリティーク	2021/7/16	44
看護研究③ 研究方法	2021/8/23	62
看護研究④ 研究計画書の作成方法 倫理審査	2021/9/29	65
看護研究⑤ 抄録の作り方 スライド作成 プレゼンテーション	2021/11/26	65
これからの退院支援 (基礎編)	2021/6/21	104
アサーティブコミュニケーション	2021/9/3	27
クリティカル院内研修	2022/1/11～14	4

【看護部／対象：ラダーⅢを目指す人】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
論理的な文章の書き方	2021/7/9	21

これからの退院支援（実践編）	2021/8/20	24
倫理的問題は何なのか？ 言葉にしてみよう①	2021/8/30	23
倫理的問題は何なのか？ 言葉にしてみよう②	2021/10/7	23
倫理的問題は何なのか？ 言葉にしてみよう③	2022/1/21	22
中堅看護師に求められるリーダーシップ	2021/9/17	26
臨床の知 ～ナラティブで看護を振り返る～	2021/11/12	25
臨床指導のスキル	2022/2/1	21
看護記録Ⅲ ～看護実践のまとめ方～	2022/2/4	18

【看護部／対象：ラダーⅣを目指す人】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
現場で活かせるファシリテーションスキル	2021/7/16	15
人を育てるとは	2021/11/29	20
看護倫理カンファレンス開催のコツ	2021/12/15	22
院内看護管理入門① 組織管理論Ⅰ	2021/5/19	15
院内看護管理入門② ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論、保健医療福祉サービス提供体制	2021/6/18	16
院内看護管理入門③ ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割	2021/7/21	16
院内看護管理入門④ 人材管理Ⅰ 看護チームマネジメント	2021/11/17	16
院内看護管理入門⑤ 人材管理Ⅰ 労務管理の基礎知識	2021/9/15	15
院内看護管理入門⑥ 【公開講座】人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	2021/10/22	51
院内看護管理入門⑦ 質管理Ⅰ	2021/8/18	16
院内看護管理入門⑧ 資源管理Ⅰ	2021/12/15	16

【看護部／対象：全看護師】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
2021 看護部の取り組み	2021/4/23、26、28	812
2021 看護部の取り組み 中間の振り返り	2021/10/29、11/2、8、	780
本人の意思と価値を尊重した人生会議のあり方 (アドバンス・ケア・プランニング)	2021/10/15	98
認知症を持つ人の理解と関わり方	2021/10/18	125
報告会	2022/2/10	139
第96回 院内看護研究発表会・活動報告会	2022/2/26	257
院内 ICLS 研修	2021/5/6	9
院内 ICLS 研修	2021/6/8	10
院内 ICLS 研修	2021/7/8	9
院内 ICLS 研修	2021/8/10	9
院内 ICLS 研修	2021/9/9	10
院内 ICLS 研修	2021/10/21	8
院内 ICLS 研修	2021/11/11	9
院内 ICLS 研修	2021/12/7	8
院内 ICLS 研修	2022/1/6	6
静脈注射 技術編Ⅲ CV ポート技術演習	2021/7/14 2022/1/12	49
アドバンストナースミニレクチャー①	2021/6/7	36

アドバンストナースミニレクチャー②	2021/8/2	52
アドバンストナースミニレクチャー③	2021/10/4	43
アドバンストナースミニレクチャー④	2022/3/28	12
院内認定がん看護公開学習会①	2021/7/30	47

【看護部／対象：管理者】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護管理研修(看護師長) 労務管理	2021 6月～7月	33
クリニカルラダー「JNA ラダーによる評価のポイントと実際」	2021 9/16・9/30・10/21	89
看護師長研修「PDP 概論」	2021/7/9と9/28	33
副看護師長研修「看護の本質を考える～『看護覚え書』を現代の視点で読み解く～」	2021/7/2	98
部署発表会 目標に対する活動報告	2022/3/11	89
昇任管理者研修・オリエンテーション	2022/3/2、3/4	14

【看護部／対象：その他】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護必要度研修	2021/7/12、26、29、8/13、8/17、 9/17、9/30	576
褥瘡予防と褥瘡発生後のケア	2021/5/17、24、31 6/14 7/1	717

【看護部／対象：看護補助者】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
補助者研修① 医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 看護補助者の役割	2021/4/16	68
補助者研修② 感染防止対策 ～PPEと環境整備について学ぶ～	2021/5/21	75
補助者研修③ 医療安全	2021/6/18	77
技術演習	2021/8/11	56
補助者研修④ 一次救命処置	2021/12/3	75
振り返り	2022/3/7	51

【放射線部】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
バイエル薬品 Web カンファレンス	2021/4/9	1
NET Web Seminar	2021/4/13	3
第77回日本放射線技術学会総会学術大会	2021/4/15	9
正常水頭症を再考する会	2021/4/15	2
Yamaguchi GE Users Meeting	2021/4/20	2
山口県放射線技師会総会	2021/5/16	1
WEB版 IN VIVO 講習会「骨編」	2021/5/19	2
Cardiac Amyloidosis Read with Experts in Japan	2021/6/4	2
2021 医学物理士ミニマム講習会(理工工学系)	2021/6/5	2
第3回 X線動態画像セミナー	2021/6/5	3

ゲルベジヤパン web セミナー臨床に役立つ中枢神経領域の画像診断 ~頭部画像診断の勘どころ	2021/6/9	1
認知症診療の近未来を考える会	2021/6/10	3
核医学技術学会中国四国地方会	2021/6/19	4
山口 Magnetom 研究会	2021/6/26	1
第 146 回 放射線治療かたろう会	2021/6/26	4
第 18 回 山口 MAGNETOM 研究会	2021/6/26	1
第 15 回 MICCS	2021/6/26	3
第 42 回 ひろしま乳房画像研究会	2021/6/26	4
第 3 回 Varia Live!(Lecture 編)	2021/6/29	4
被ばく線量管理 Web セミナー	2021/6/29	4
Vitrea 座談会	2021/7/1	4
2021 医学物理士ミニマム講習会(医学生物系)	2021/7/3	1
日本放射線技術学会中国・四国支部第 22 回夏季学術大会	2021/7/3	3
山陽核医学カンファレンスプログラム	2021/7/7	3
中国四国 MR 研究会	2021/7/8	4
第 27 回 徳島放射線治療研究会	2021/7/10	14
デジタルマンモグラフィ エクセレントカンファレンス	2021/7/11	4
山口 CT UPDATE seminar	2021/7/16	2
CMR 実践ワークショップ	2021/7/17	11
第 14 回 京大クリニカルスクール	2021/7/17	1
山口県放射線技師会夏期講習会	2021/7/18	2
山口県診療放射線技師会 夏季講習会	2021/7/18	3
第 2 回放射線技術ブラッシュアップセミナー	2021/7/19	1
第 3 回 Varia Live!(Answer 編)	2021/8/24	5
第 57 回 山口 MR 撮像技術研究会	2021/8/28	1
ルテチウムオキソドトロチド (Lu-177) 注射液を用いた核医学治療 の安全取扱講習会	2021/9/1	3
MI Web クラスルームトレーニング	2021/9/3	6
第 39 回 山口県放射線治療研究会	2021/9/4	2
第 17 回 山口乳腺画像研究会	2021/9/4	1
第 4 回核医学オンラインジャーナルクラブ	2021/9/6	5
日本磁気共鳴医学会大会	2021/9/10	3
富士製薬工業株式会社 Web 講演会 CTIにおける造影剤の安全使用 ー急性副作用を中心にー	2021/9/16	2
リニアック STI 時代に備えよう~SRS MapCheck&MMWL の使用経験 ~	2021/9/22	10
第 147 回放射線治療かたろう会	2021/9/25	3
第 37 回ブレイン・ファンクション・イメージング・カンファレンス	2021/9/25	1
第 10 回 Cutting Edge Radiology in Yamaguchi	2021/9/27	39
第 20 回山口県認知症研究会	2021/9/30	6
Eisai Dementia Live Seminar 認知症の画像診断 Update	2021/10/1	5
第 15 回 京大クリニカルスクール	2021/10/2	4
日本CT技術学会 第 9 回学術大会	2021/10/2	1
GE Healthcare Japan Edison Seminar 2021	2021/10/2	13
第 14 回日本心臓核医学会中国四国地区地域別教育研修会	2021/10/9	1
ゲルベジヤパン web セミナー臨床に役立つ胸部領域の画像診断 ~COVID-19 の画像診断:基礎から最近の話題まで	2021/10/13	2

第 49 回 日本放射線技術学会秋季学術大会	2021/10/15	5
3rd. Yamaguchi GE Users Meeting	2021/10/19	3
FUJIFILM マンモウエビナー in 中国 2021	2021/10/21	1
パイエル Web カンファレンス	2021/10/22	3
第 8 回 中四国キヤノン CT ユーザーWebinar	2021/10/23	2
第 25 回 オータムセミナー	2021/10/23	3
第 15 回熊本核医学技術研究会	2021/10/29	9
乳房超音波検査実践塾	2021/10/30	3
Brest Biopsy ウェビナー	2021/11/6	2
第 37 回日本診療放射線技師学術大会	2021/11/12	4
ゲルベジヤパン web セミナー 中枢神経領域の画像診断	2021/11/17	7
山口脳腫瘍カンファレンス	2021/11/17	6
北海道 magnetom 研究会	2021/11/20	3
医学物理士実務講習会	2021/11/20	2
NSCLC Live Planning Seminar	2021/11/20	3
5th Enhanced CT Imaging Seminar	2021/11/20	4
第 3 回根本塾 至適造影法の導入事例から学ぶ造影方法変更のマネジメント	2021/11/20	5
山口県放射線技師会秋季講習会	2021/11/21	8
ひろしま核医学技術検討会	2021/11/25	1
NET Web Seminar	2021/11/26	1
関西 magnetom 研究会	2021/11/27	3
第 17 回 山口 CT テクノロジーセミナー	2021/11/27	4
WEB 版 IN VIVO 講習会「脳血流 SPECT 編」	2021/12/1	1
第 11 回 Cutting Edge Radiology in Yamaguchi	2021/12/3	4
マイクロセレクトロン HDR 研究会第 17 回学術研究大会	2021/12/4	12
第 36 回山口核医学技術検討会	2021/12/7	3
造影検査ステップアップセミナー	2021/12/8	5
MI Web クラスルームトレーニング	2021/12/10	3
第 20 回 CTテクノロジーフォーラム	2021/12/11	1
ゲルベジヤパン web セミナー 中枢神経領域の画像診断	2021/12/15	3
ゲルベジヤパン株式会社 WEB セミナー 知って得する画像診断の最新情報	2021/12/15	1
鹿児島乳腺画像研究会	2021/12/16	3
第 148 回放射線治療かたろう会	2021/12/18	3
第 17 回 中四国放射線医療技術フォーラム	2021/12/18	7
第 3 回 九州核医学コミュニティ	2021/12/18	3
第 4 回 CT Colonography Webinar	2022/1/13	1
乳房 MRI 研究会	2022/1/15	5
第 4 回根本塾 The image with contrast 癌診療の実践的造影CTプロトコル	2022/1/15	1
岡山 MRI 撮像技術研究会	2022/1/22	6
Radiology Today in Setouchi	2022/1/22	3
山口 magnetom 研究会	2022/1/29	6
第 47 回核医学研究会夢工房	2022/1/29	7
第 28 回 肝血流動態・機能イメージ研究会	2022/1/30	4
核医学オンラインジャーナルクラブ―特別編―	2022/1/31	5
第 16 回熊本核医学技術研究会	2022/2/4	2

やまぐち維新 CT Conference	2022/2/5	8
九州・山口循環器画像研究会	2022/2/5	2
第 47 回ニュータウンカンファレンス	2022/2/5	2
四国キャノンCTセミナー	2022/2/10	2
第 15 回 南九州地域放射線治療技術合同研究会	2022/2/12	2
高速 X 線 CT 研究会	2022/2/18	3
第 58 回 山口 MR 撮像技術研究会	2022/2/19	10
富士フイルム・バイエル画像診断 WEB カンファレンス	2022/2/24	15
Canon Advanced Imaging Seminar2022	2022/2/26	12
日本核医学技術学会第 123 回北陸地方会第 24 回 New Clear Technology カンファレンス	2022/2/26	3
ADIC 画像診断研究会	2022/3/3	2
第 40 回 山口県放射線治療研究会	2022/3/5	8
山口県放射線技師会春季講習会	2022/3/6	15
山口県診療放射線技師会 乳がん部会講習会	2022/3/13	4
ゲルベジヤパン web セミナー 臨床に役立つ、知って得する Gd 造影剤に関する話題	2022/3/16	3
バイエル画像診断 WEB カンファレンス	2022/3/16	3
第 72 回 救急放射線画像研究会 in 東京	2022/3/16	1
Cutting edge	2022/3/17	6
イオプロミド注「BYL」Web カンファレンス	2022/3/29	4

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【放射線部】

研修名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
防護管理者定期講習会	2021/8/11	1
医療機関の放射線業務従事者のための放射性同位元素等規制法講習会	2021/11/27	1

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容
 ・研修の期間・実施回数
 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 杉野 法広	
管理担当者氏名	総務課長 佐藤 元則 医事課長 濱本 伸一	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医学部総務課	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部 各診療科	
		手術記録	診療録センター 医療情報部	
		看護記録	診療録センター 医療情報部	
		検査所見記録	診療録センター 医療情報部	
		エックス線写真	各診療科 放射線部	
		紹介状	診療録センター 医療情報部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第三	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	
		高度の医療の提供の実績	医学部医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課 医学部経営企画課	
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
		閲覧実績	医学部総務課 医学部医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医事課	
	に掲げる事項	規則第一條の十一第一項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医事課 薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況			医療の質・安全管理部	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況			医療の質・安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部総務課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医学部総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医学部総務課	
		医療安全管理部門の設置状況	医学部総務課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部	
		監査委員会の設置状況	医学部総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務企画部総務課	
		職員研修の実施状況	医学部総務課 医療の質・安全管理部	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医学部総務課	
管理者が有する権限に関する状況	医学部総務課			
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医学部総務課			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医学部総務課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 杉野 法広
閲覧担当者氏名	総務課長 佐藤 元則 医事課長 濱本 伸一
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館2階 事務室 外来診療棟1階 患者相談室
閲覧の手続の概要 ・閲覧申込 閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・提出先 病院長 ・閲覧方法 指定した日時・場所で行う ・返納方法 当日返納とし、総務課総務係に返納する	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 本院における医療事故防止のための安全管理の取り組みについて ・ 本院における安全管理体制の確保及び推進のため、病院長を委員長とした「医療の質・安全管理委員会」を設置するとともに、医療の質・安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療の質・安全管理部」を設置することについて ・ 医薬品、医療機器及び診療用放射線の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」、「医療機器安全管理責任者」及び「医療放射線安全管理責任者」を置くとともに、医療安全管理委員会、医療の質・安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて ・ 全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年2回以上開催することについて ・ 院内全死亡事例の報告並びに医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて ・ 院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネジャー連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて ・ 医療事故等発生時の対応に関することについて ・ 患者等が当該指針を閲覧できることについて ・ 患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備していることについて ・ マニュアルの作成や見直し、診療録等の記録の指導について ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供について 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎月1回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療の質管理及び改善に関すること。 (2) 医療事故防止に関すること。 (3) 医療訴訟の対策に関すること。 (4) 院内死亡事例に関すること。 2. 医療の質・安全管理部（医療安全管理部門）と連携し、医療の質・安全管理部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。 	

3. 本院のリスクマネジメントマニュアル等の作成や見直し及び診療録等の記入について、関係者に周知して医療事故防止に努め、安全管理を図る

4. 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 回

・ 研修の内容（すべて）：

研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数
「医療安全管理体制、医療安全推進のための目標、せん妄対策」 「2020年度のインシデント報告より」 「医薬品安全管理について～医薬品の適応外等使用～」 「外部監査結果および医療の質評価への取り組み」	2021/6/17	全職員	医師GRM 医師GRM 薬剤師GRM 看護師GRM	1873人 (eラーニング、VTR講習会、DVD貸し出しを含む)
医療安全文化調査の活用～医療安全の原点となった患者取り違え事故から始まった、横浜市大病院での取り組みにおける位置づけ～	2021/11/9	全職員	学外講師	1822人 (eラーニング、VTR講習会、DVD貸し出しを含む)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

（インシデント・アクシデント報告の分析・検討）

- ・ 報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など9の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。
また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。
- ・ オカレンス報告を増やすため、オカレンス報告の様式を簡素化した。
- ・ 報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部会議において審議され決定している。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療の質・安全管理部にて検討している。

（院内死亡事例報告の検証）

- ・ 医療の質・安全管理部で毎日死亡事例を抽出し速やかにスクリーニングを行う。
情報収集した各種データを基に、医療の質・安全管理部会議及び医療の質・安全管理委員会で検証を行い、必要な情報を院内にフィードバックしている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無															
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する該当指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 (8) 感染対策の地域連携に関する基本方針</p>																
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回															
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 感染予防に関すること (2) 感染予防対策の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の職業感染対策に関すること (5) 病院内の感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (6) 感染制御部の管理及び運営に関すること (7) その他感染対策に関すること</p>																
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回															
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p>																
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="165 1249 778 1279">研修内容</th> <th data-bbox="778 1249 948 1279">研修日</th> <th data-bbox="948 1249 1098 1279">対象者</th> <th data-bbox="1098 1249 1289 1279">講師</th> <th data-bbox="1289 1249 1422 1279">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="165 1279 778 1532"> 当院における感染対策 薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用（AS） 活動について </td> <td data-bbox="778 1279 948 1532"> VTR 研修 2021/5/25 2021/5/28 2021/6/7 2021/6/10 2021/6/11 WEB 講習 2022/5/25～ 2022/7/31 </td> <td data-bbox="948 1279 1098 1532">全職員</td> <td data-bbox="1098 1279 1289 1532"> 感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆 </td> <td data-bbox="1289 1279 1422 1532">2,206 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="165 1532 778 1671"> 感染制御の父 ゼンメルワイス </td> <td data-bbox="778 1532 948 1671"> 研修日 2022/1/7 WEB 講習 2022/1/17～ 2022/1/28 </td> <td data-bbox="948 1532 1098 1671">全職員</td> <td data-bbox="1098 1532 1289 1671"> 福岡記念病院 感染制御部長 向野 賢治 </td> <td data-bbox="1289 1532 1422 1671">2,045 人</td> </tr> </tbody> </table>		研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数	当院における感染対策 薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用（AS） 活動について	VTR 研修 2021/5/25 2021/5/28 2021/6/7 2021/6/10 2021/6/11 WEB 講習 2022/5/25～ 2022/7/31	全職員	感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆	2,206 人	感染制御の父 ゼンメルワイス	研修日 2022/1/7 WEB 講習 2022/1/17～ 2022/1/28	全職員	福岡記念病院 感染制御部長 向野 賢治	2,045 人
研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数												
当院における感染対策 薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用（AS） 活動について	VTR 研修 2021/5/25 2021/5/28 2021/6/7 2021/6/10 2021/6/11 WEB 講習 2022/5/25～ 2022/7/31	全職員	感染制御部 枝國 信貴 河口 義隆	2,206 人												
感染制御の父 ゼンメルワイス	研修日 2022/1/7 WEB 講習 2022/1/17～ 2022/1/28	全職員	福岡記念病院 感染制御部長 向野 賢治	2,045 人												
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況																
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有 ・ 無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>・ 収集した各データや問題点を院内感染対策専門部会で検討している。 ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案し、協議している。</p>																

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況		☑・無																																																																																																																																									
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況		年 26 回																																																																																																																																									
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修日</th> <th>対象者</th> <th>研修内容</th> <th>講師</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021.4.1</td> <td>医療職員新採用者、研修医</td> <td>薬剤部の利用について</td> <td>副薬剤部長</td> <td>109名</td> </tr> <tr> <td>2021.4.6,7</td> <td>新採用看護師</td> <td>内服薬・貼付薬・外用薬の知識</td> <td>薬剤主査</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>2021.4.6,7</td> <td>新採用看護師</td> <td>静脈注射に用いる薬剤の基礎知識</td> <td>薬剤主査</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>2021.5.25-7.31</td> <td>全職員</td> <td>薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用支援活動について</td> <td>AST 専従薬剤師</td> <td>2206名</td> </tr> <tr> <td>2021.6.11</td> <td>B-4 看護師</td> <td>麻薬・覚せい剤原料講習会</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>2021.6.17-10.31</td> <td>全職員</td> <td>医薬品の安全管理について～医薬品の適応外等使用～</td> <td>薬剤師 GRM</td> <td>1811名</td> </tr> <tr> <td>2021.6.17</td> <td>A-1 看護師</td> <td>麻薬・覚せい剤原料講習会</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>64名</td> </tr> <tr> <td>2021.7.1</td> <td>A6 A6MFICU B6 看護師</td> <td>麻薬・覚せい剤原料講習会</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>2021.7.8</td> <td>B6 看護師</td> <td>麻薬覚せい剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>2021.7.21</td> <td>A8 看護師</td> <td>麻薬覚せい剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>2021.9.6,9.10</td> <td>新採用看護師</td> <td>「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」</td> <td>薬剤主査</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>2021.9.6,9.10</td> <td>新採用看護師</td> <td>「ハイリスク注射薬の知識と管理」</td> <td>副薬剤部長</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>2021.9.9</td> <td>B8 看護師</td> <td>麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>2021.9.9</td> <td>A7 看護師</td> <td>麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>2021.9.16</td> <td>A6 看護師</td> <td>麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>2021.9.28</td> <td>B10 看護師</td> <td>麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>2021.10.1</td> <td>A9 看護師</td> <td>肺がん治療薬と副作用について</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>2021.10.1</td> <td>A9 看護師</td> <td>麻薬覚せい剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>2021.10.15</td> <td>A10 看護師</td> <td>麻薬覚せい剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>2021.10.28</td> <td>研修医</td> <td>医薬品使用時の安全管理</td> <td>副薬剤部長</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>2021.10.31</td> <td>新採用医師</td> <td>医薬品に関するルール</td> <td>薬剤師 GRM</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>2021.11.8</td> <td>A11 看護師</td> <td>麻薬覚醒剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>2021.11.18</td> <td>B5 看護師</td> <td>麻薬覚醒剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>2021.11.12</td> <td>A12 看護師</td> <td>麻薬覚醒剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>2021.12.1 (DVD～R4.3.31)</td> <td>A3 看護師</td> <td>投与方法に注意が必要な薬剤について</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>2022.3.26</td> <td>A3 看護師</td> <td>麻薬覚醒剤原料の取扱いについて</td> <td>病棟担当薬剤師</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>					研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数	2021.4.1	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の利用について	副薬剤部長	109名	2021.4.6,7	新採用看護師	内服薬・貼付薬・外用薬の知識	薬剤主査	78名	2021.4.6,7	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の基礎知識	薬剤主査	78名	2021.5.25-7.31	全職員	薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用支援活動について	AST 専従薬剤師	2206名	2021.6.11	B-4 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	16名	2021.6.17-10.31	全職員	医薬品の安全管理について～医薬品の適応外等使用～	薬剤師 GRM	1811名	2021.6.17	A-1 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	64名	2021.7.1	A6 A6MFICU B6 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	38名	2021.7.8	B6 看護師	麻薬覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	22名	2021.7.21	A8 看護師	麻薬覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	28名	2021.9.6,9.10	新採用看護師	「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」	薬剤主査	70名	2021.9.6,9.10	新採用看護師	「ハイリスク注射薬の知識と管理」	副薬剤部長	70名	2021.9.9	B8 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	21名	2021.9.9	A7 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	16名	2021.9.16	A6 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	31名	2021.9.28	B10 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	16名	2021.10.1	A9 看護師	肺がん治療薬と副作用について	病棟担当薬剤師	14名	2021.10.1	A9 看護師	麻薬覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	14名	2021.10.15	A10 看護師	麻薬覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	22名	2021.10.28	研修医	医薬品使用時の安全管理	副薬剤部長	7名	2021.10.31	新採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	70名	2021.11.8	A11 看護師	麻薬覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	14名	2021.11.18	B5 看護師	麻薬覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	12名	2021.11.12	A12 看護師	麻薬覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	11名	2021.12.1 (DVD～R4.3.31)	A3 看護師	投与方法に注意が必要な薬剤について	病棟担当薬剤師	42名	2022.3.26	A3 看護師	麻薬覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	10名
研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数																																																																																																																																							
2021.4.1	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の利用について	副薬剤部長	109名																																																																																																																																							
2021.4.6,7	新採用看護師	内服薬・貼付薬・外用薬の知識	薬剤主査	78名																																																																																																																																							
2021.4.6,7	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の基礎知識	薬剤主査	78名																																																																																																																																							
2021.5.25-7.31	全職員	薬剤耐性（AMR）対策と当院における抗菌薬適正使用支援活動について	AST 専従薬剤師	2206名																																																																																																																																							
2021.6.11	B-4 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	16名																																																																																																																																							
2021.6.17-10.31	全職員	医薬品の安全管理について～医薬品の適応外等使用～	薬剤師 GRM	1811名																																																																																																																																							
2021.6.17	A-1 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	64名																																																																																																																																							
2021.7.1	A6 A6MFICU B6 看護師	麻薬・覚せい剤原料講習会	病棟担当薬剤師	38名																																																																																																																																							
2021.7.8	B6 看護師	麻薬覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	22名																																																																																																																																							
2021.7.21	A8 看護師	麻薬覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	28名																																																																																																																																							
2021.9.6,9.10	新採用看護師	「麻薬・劇薬・毒薬の知識と管理」	薬剤主査	70名																																																																																																																																							
2021.9.6,9.10	新採用看護師	「ハイリスク注射薬の知識と管理」	副薬剤部長	70名																																																																																																																																							
2021.9.9	B8 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	21名																																																																																																																																							
2021.9.9	A7 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	16名																																																																																																																																							
2021.9.16	A6 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	31名																																																																																																																																							
2021.9.28	B10 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	16名																																																																																																																																							
2021.10.1	A9 看護師	肺がん治療薬と副作用について	病棟担当薬剤師	14名																																																																																																																																							
2021.10.1	A9 看護師	麻薬覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	14名																																																																																																																																							
2021.10.15	A10 看護師	麻薬覚せい剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	22名																																																																																																																																							
2021.10.28	研修医	医薬品使用時の安全管理	副薬剤部長	7名																																																																																																																																							
2021.10.31	新採用医師	医薬品に関するルール	薬剤師 GRM	70名																																																																																																																																							
2021.11.8	A11 看護師	麻薬覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	14名																																																																																																																																							
2021.11.18	B5 看護師	麻薬覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	12名																																																																																																																																							
2021.11.12	A12 看護師	麻薬覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	11名																																																																																																																																							
2021.12.1 (DVD～R4.3.31)	A3 看護師	投与方法に注意が必要な薬剤について	病棟担当薬剤師	42名																																																																																																																																							
2022.3.26	A3 看護師	麻薬覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	10名																																																																																																																																							
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況																																																																																																																																											
<p>・ 手順書の作成 (☑・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品の採用に関する事項 2) 医薬品の購入・管理に関する事項（購入～薬剤部内の管理） 3) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4) 患者に対する服薬指導に関する事項 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い 6) 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理 7) 他施設（病院、薬局等）との連携に関する事項 8) 輸血・輸血用血液製剤の取扱い 9) 薬剤投与のための機器使用 10) 放射線医薬品の管理 11) 臨床検査薬の管理 12) 造影剤の管理、使用 																																																																																																																																											

- 13) 院内製剤の取扱いについて
- 14) 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について
- 15) 当該手順書の遵守状況の確認

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :
 - ① 0.2%ピオクタニン (メチルロザニリン) 液 : 口唇裂の手術 (形成術および修正術) の際に、切開線の記入および解剖学的基準点の印記。再閉胸に際し、皮膚のトリミングの際のマーキング、組織のデブリードマンの際のマーキング。
 - ② 0.5%デノシン点眼液 : サイトメガロウイルスによる角膜炎の沈静化を目的とする。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
 - (1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。
 - (2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。
 - (3) 薬剤部より月1回「DI EXPRESS」を発行している。
 - (4) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページでお知らせする。
 - (5) 心電図検査・心機能検査が求められる医薬品について、リスクに応じて処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (6) 転倒転落防止のための不眠時指示のフローチャートを作成し、全病棟の配置薬を該当の薬剤に統一している。
 - (7) 投与間隔が必要な医薬品処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (8) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。
 - (9) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。
 - (10) 注射調剤時には、原則バーコードリーダー照合により、処方薬の正しい交付を確認している。
 - (11) 抗がん剤調製は必要に応じて重量鑑査システムを使用し、誤調製を防止している。
 - (12) 内服・外用調剤監査時に必要に応じて画像鑑査システムを使用し誤調剤を防止している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																																																																																																																		
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 35 回																																																																																																																		
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 新しい医療機器導入時の研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>機種名</th> <th>導入診療科(部)名</th> <th>開催日</th> <th>受講者(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血液粘弾性検査装置</td> <td>TEG 6s</td> <td>ME</td> <td>令和3年4月22日</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>人工心肺装置</td> <td>APS-1</td> <td>ME</td> <td>令和3年7月12日</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>タニケット</td> <td>デルファイPTS II</td> <td>ME、手術部</td> <td>令和3年7月28日</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>ヘモスフィア</td> <td>Ver2</td> <td>ME、CCMC</td> <td>令和3年10月26日</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>内視鏡3Dシステム</td> <td>OTV-S300 外</td> <td>ME、手術部</td> <td>令和3年12月17日</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器</td> <td>Trilogy Evo</td> <td>ME</td> <td>令和3年12月20日</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機器別研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>内容</th> <th>開催日</th> <th>受講者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①人工心肺装置</td> <td>2021年度PCPS研修会確認テスト(人工心肺)</td> <td>Web</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">①補助循環装置</td> <td>2021年度IABP研修確認テスト(補助循環)</td> <td>Web</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>2021年度VAD研修会確認テスト(補助循環)</td> <td>Web</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">②人工呼吸器</td> <td>PB980ベンチレータ</td> <td>令和3年4月13日</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>ドレーゲルVN500</td> <td>令和3年7月15日</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>PB980オプション追加</td> <td>令和3年9月30日</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2021年度NPPV・NHF研修確認テスト</td> <td>Web</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>2021年度ポータブル人工呼吸器研修会確認テスト</td> <td>Web</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>2021年度人工呼吸器研修1確認テスト</td> <td>Web</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>2021年度人工呼吸器研修2確認テスト</td> <td>Web</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">③血液浄化装置</td> <td>2021年度CHDF研修確認テスト</td> <td>Web</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>2021年度アフレーシス研修確認テスト</td> <td>Web</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>2021年度透析研修会確認テスト</td> <td>Web</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④除細動装置</td> <td>2021年度除細動研修1確認テスト</td> <td>Web</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>2021年度除細動研修会確認テスト</td> <td>Web</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤閉鎖式保育器</td> <td>インキュ i、インファウオーマー i</td> <td>令和3年4月23日</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>2021年度保育器研修(保育器)</td> <td>Web</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>⑥診療用高エネルギー放射線発生装置(直線加速器等)</td> <td>放射線部において実施</td> <td>(6)に記載</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦診療用粒子線照射装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧診療用放射線照射装置</td> <td>放射線部において実施</td> <td>(6)に記載</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* コロナ禍の為、集合型の研修は自粛し、院内の動画配信サービスを利用して受講できるようにしました。「MEだより」にて視聴方法、研修確認方法を周知しました。</p> <p>(3) 研修医対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修内容</th> <th>開催日</th> <th>受講者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器の取り扱い(テルモ)</td> <td>令和3年4月2日(金)</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		機器名	機種名	導入診療科(部)名	開催日	受講者(人)	血液粘弾性検査装置	TEG 6s	ME	令和3年4月22日	12	人工心肺装置	APS-1	ME	令和3年7月12日	6	タニケット	デルファイPTS II	ME、手術部	令和3年7月28日	74	ヘモスフィア	Ver2	ME、CCMC	令和3年10月26日	28	内視鏡3Dシステム	OTV-S300 外	ME、手術部	令和3年12月17日	51	人工呼吸器	Trilogy Evo	ME	令和3年12月20日	8	機器名	内容	開催日	受講者数(人)	①人工心肺装置	2021年度PCPS研修会確認テスト(人工心肺)	Web	100	①補助循環装置	2021年度IABP研修確認テスト(補助循環)	Web	123	2021年度VAD研修会確認テスト(補助循環)	Web	99	②人工呼吸器	PB980ベンチレータ	令和3年4月13日	45	ドレーゲルVN500	令和3年7月15日	45	PB980オプション追加	令和3年9月30日	11	2021年度NPPV・NHF研修確認テスト	Web	129	2021年度ポータブル人工呼吸器研修会確認テスト	Web	107	2021年度人工呼吸器研修1確認テスト	Web	120	2021年度人工呼吸器研修2確認テスト	Web	122	③血液浄化装置	2021年度CHDF研修確認テスト	Web	116	2021年度アフレーシス研修確認テスト	Web	100	2021年度透析研修会確認テスト	Web	104	④除細動装置	2021年度除細動研修1確認テスト	Web	132	2021年度除細動研修会確認テスト	Web	141	⑤閉鎖式保育器	インキュ i、インファウオーマー i	令和3年4月23日	45	2021年度保育器研修(保育器)	Web	10	⑥診療用高エネルギー放射線発生装置(直線加速器等)	放射線部において実施	(6)に記載		⑦診療用粒子線照射装置				⑧診療用放射線照射装置	放射線部において実施	(6)に記載		研修内容	開催日	受講者数(人)	医療機器の取り扱い(テルモ)	令和3年4月2日(金)	10
機器名	機種名	導入診療科(部)名	開催日	受講者(人)																																																																																																															
血液粘弾性検査装置	TEG 6s	ME	令和3年4月22日	12																																																																																																															
人工心肺装置	APS-1	ME	令和3年7月12日	6																																																																																																															
タニケット	デルファイPTS II	ME、手術部	令和3年7月28日	74																																																																																																															
ヘモスフィア	Ver2	ME、CCMC	令和3年10月26日	28																																																																																																															
内視鏡3Dシステム	OTV-S300 外	ME、手術部	令和3年12月17日	51																																																																																																															
人工呼吸器	Trilogy Evo	ME	令和3年12月20日	8																																																																																																															
機器名	内容	開催日	受講者数(人)																																																																																																																
①人工心肺装置	2021年度PCPS研修会確認テスト(人工心肺)	Web	100																																																																																																																
①補助循環装置	2021年度IABP研修確認テスト(補助循環)	Web	123																																																																																																																
	2021年度VAD研修会確認テスト(補助循環)	Web	99																																																																																																																
②人工呼吸器	PB980ベンチレータ	令和3年4月13日	45																																																																																																																
	ドレーゲルVN500	令和3年7月15日	45																																																																																																																
	PB980オプション追加	令和3年9月30日	11																																																																																																																
	2021年度NPPV・NHF研修確認テスト	Web	129																																																																																																																
	2021年度ポータブル人工呼吸器研修会確認テスト	Web	107																																																																																																																
	2021年度人工呼吸器研修1確認テスト	Web	120																																																																																																																
	2021年度人工呼吸器研修2確認テスト	Web	122																																																																																																																
③血液浄化装置	2021年度CHDF研修確認テスト	Web	116																																																																																																																
	2021年度アフレーシス研修確認テスト	Web	100																																																																																																																
	2021年度透析研修会確認テスト	Web	104																																																																																																																
④除細動装置	2021年度除細動研修1確認テスト	Web	132																																																																																																																
	2021年度除細動研修会確認テスト	Web	141																																																																																																																
⑤閉鎖式保育器	インキュ i、インファウオーマー i	令和3年4月23日	45																																																																																																																
	2021年度保育器研修(保育器)	Web	10																																																																																																																
⑥診療用高エネルギー放射線発生装置(直線加速器等)	放射線部において実施	(6)に記載																																																																																																																	
⑦診療用粒子線照射装置																																																																																																																			
⑧診療用放射線照射装置	放射線部において実施	(6)に記載																																																																																																																	
研修内容	開催日	受講者数(人)																																																																																																																	
医療機器の取り扱い(テルモ)	令和3年4月2日(金)	10																																																																																																																	

輸液の使い方、点滴のセッティング方法（セイフアクセスの使用法）、AED、気管内挿管実習	令和3年4月5日(月)	10
人工呼吸器の管理について	令和3年6月3日(木)	17

(4) 新人看護師対象

研修内容	開催日	受講者数(人)
新採用者オリエンテーション：ME機器管理センターについて	令和3年4月5日(月)	80
輸液ポンプ・シリンジポンプ	令和3年4月17日(土)	74
経管栄養管理	令和3年6月12日(土)	72
心電図モニター	令和3年9月1日(水)	71

(5) 臨床工学技士

研修内容	開催日
院外研修(他) 血液浄化・循環器・医療機器関連学会での研修	令和3年5月14日(土) ～15日(日)

(6) 放射線部

研修内容	開催日	受講者数(人)
院内研修 直線加速器	令和3年4月23日(木)	14
院内研修 直線加速器	令和3年9月29日(木)	13
院内研修 RALS	令和3年5月28日(火)	17
院内研修 RALS	令和3年6月18日(火)	15

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (有 ・ 無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容：

人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化装置の一部を定期点検(外注)
除細動装置、血液浄化装置の一部、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、
低圧持続吸引器、間歇的空気圧迫装置を定期点検(院内)

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)

PMDA、日本医療評価機構より情報収集・院内メールにて周知

- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：

なし

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

不定期に「MEだより」を発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者に「安全・個人情報担当」の副病院長（医師）をもって充て、医療安全管理部門、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（9名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>収集した医薬品情報を3分類（最重要、重要、その他）し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Expressで病院全職員へ周知すると共に、「最重要」、「重要」の項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定（全職員又は関連職員）するなどし、薬剤部DIセンターで関連書類を管理している。昨年度は「最重要」に該当した「ジョイクル関節注30mgによるショック、アナフィラキシーについて」（安全性速報）に対し、全職員の周知確認の署名を回収した。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認等医薬品を使用する診療科は新規医療審査室の審査を受ける。医薬品の適応外・禁忌使用については、病棟薬剤業務及び薬剤部セントラル業務を通じて把握を行い、医師が「医薬品の適応外等使用に係る申請書」により新規医療審査室に申請する。申請書をもとにリスク分類（A、B、C）し、リスクAは未承認新規及び適応外等医薬品評価委員会での審査・事後検証・患者への文書説明と同意取得、リスクBは必要に応じて評価委員会での審査・事後検証を実施し、患者への文書説明と同意取得、リスクCは患者への口頭説明と同意取得（診療録に記録）を原則とすることとしている。また、医薬品の禁忌使用の把握については、電子カルテおよび薬剤部の調剤支援システム（禁忌チェックシステム）を利用している。</p> <p>・担当者の指名の有無（有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種： （所属：医療の質・安全管理部， 職種：薬剤師） （所属：薬剤部DIセンター， 職種：薬剤師）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する</p>	

規程の作成の有無 (有 ・ 無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：
侵襲性の高い診療行為（手術等）について、インフォームド・コンセントの記録の確認を行い、診療録等に関する委員会にて報告し、是正を勧告している。また、多職種で参加する院内ケアプロセス調査においても、記載内容等について改善指導を行っている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 ・ 無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

1) 診療録等の量的・質的点検

診療情報管理士による診療録の点検を実施し、診療録センター運営委員会、Q I センター会議で報告するとともに、各診療科（診療科長・病棟医長・担当医）へ点検結果のフィードバックをしている。また、重要度の高い指摘項目がある診療科については、必要に応じてラウンドを実施するなどし、診療録記載の改善に努めている。

2) 多職種による診療録等監査

入院から退院までの一連のプロセスにおいて、患者へのアプローチや適切な記録の有無について多職種の視点で確認し、問題点等を指摘し改善することで、診療録等の適切な記載や医療の質向上へつなげる『院内ケアプロセス調査』を実施している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 ・ 無

・所属職員：専従（5）名、専任（2）名、兼任（14）名
うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（5）名
うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名
うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（4）名
うち診療放射線技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名
うち臨床検査技師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名
うち事務：専従（0）名、専任（1）名、兼任（1）名
うち医療情報部職員：専従（0）名、専任（0）名、兼任（1）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- (1) 医療の質・安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。
- (2) 医療の質・安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。
- (3) 医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。
- (4) 医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。
- (5) 院内死亡事例の検証に関すること。

- (6) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓蒙・啓発に関すること。
- (7) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。
- (8) 医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。
- (9) 他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。
- (10) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。
- (11) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。
- (12) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
- (13) 医療の質・安全管理部会議に出席し、インシデントや医療事故防止に関して検討する。
- (14) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 3 件）、及び許可件数（ 3 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定し、申請を行った診療科長等に

対してその結果を通知する。また、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 191 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 50 件 (インシデントレベル 3b 以上)
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
毎月 1 回の定例会議において、医療安全管理部門から前々月分の院内死亡事例の検証結果についての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り ((病院名：香川大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ((病院名：鳥取大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 技術的助言の実施状況
技術的助言は特になし (令和 3 年度は受入、立入ともに書面審査のみ)

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況
院内に患者相談窓口を設置しており、患者相談対応マニュアルに準じ、医療安全・医療事故に関して医療の質・安全管理部で対応している。また、患者相談窓口で受けた相談のうち、医療安全・医療事故に関する相談は医療の質・安全管理部に報告され、内容によっては、医療の質・安全管理委員会に報告し、対応する。緊急を要する場合は、即時病院長に報告する。
また、週に一度の患者サポート対応カンファレンスに参加し、情報を共有している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2021/4/1	新採用者 (医師除く)	「新採用者オリエンテーション：病院でのリスクマネジメント」	看護師 GRM	122 人
2021/6/21	新規 (中途) 採用医師	「医薬品に関わるルール」	学内講師	88 人

		「当院の医療安全体制とその実際」		(e ラーニング、DVD 貸し出し)
2021/6/17	全職員	「医療安全管理体制、医療安全推進のための目標、せん妄対策」 「2020 年度のインシデント報告より」 「医薬品安全管理について ～医薬品の適応外等使用～」 「外部監査結果および医療の質評価への取り組み」	医師 GRM 医師 GRM 薬剤師 GRM 看護師 GRM	1873 人 (e ラーニング、VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2021/9/30	研修医	インシデントレポートからみた医療の質・安全	医師 GRM	6 人
2021/11/9	全職員	医療安全文化調査の活用 ～医療安全の原点となった患者取り違え事故から始まった、横浜市大病院での取り組みにおける位置づけ～	学外講師	1822 人 (e ラーニング、VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む)
2021/4/6、4/7	新採用者看護師	医療安全に関する研修Ⅰ 「リスクマネジメントマニュアルを知ろう」	看護師 GRM	78 人
2020/4/7、4/8	新採用看護師	服薬管理の看護基準	看護師	78 人
2021/4/6、4/7	新採用看護師	静脈注射知識編Ⅰ 「安全対策と事故防止」	看護師 GRM	78 人
2021/4/6、4/7	新採用看護師	静脈注射知識編Ⅰ 「静脈注射に用いる薬剤の基礎知識と管理」	医師 GRM	78 人
2021/6/2	2020 年度採用看護師と希望者	静脈注射知識編Ⅴ 「静脈注射にまつわるインシデント」	医師 GRM	983 人
2021/12/10 2021/12/24	新採用看護師	医療安全に関する研修Ⅱ 「リスク感性を高めよう：KYT」	看護師 GRM	68 人
2021/6/18	看護補助者	看護補助者研修 「医療安全」	看護師 GRM	77 人

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 日本医療機能評価機構が実施する「2021 年度特定機能病院管理者研修」に、管理者 (2022. 1. 25)、医療安全管理責任者 (2021. 12. 23)、医薬品安全管理責任者 (2021. 11. 22)、医療機器安全管理責任者 (2021. 12. 23) が参加し、医療に係る安全管理のための研修を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況
・第三者による評価の受審状況

日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver2.0（一般病院3）を受審し、「認定継続」の審査結果をいただいている。

なお、「医療事故等に適切に対応している」の項目についても「(A)」の評価をいただいている。

- ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

改善内容なし

- ・評価を踏まえ講じた措置

同上

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>山口大学医学部附属病院長選考規則において、「(1)臨床研修等修了医師である者、(2)病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者、(3)教育、研究及び診療に必要な資質及び能力を有する者、(4)医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者」として規定し、詳細は病院長選考基準に定めることとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 病院の予算及び経営に関する事項、規則の制定及び改廃に関する事項、その他病院の管理運営に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病棟医長等が出席する病院連絡協議会において周知している。また、会議資料、議事概要を学内ウェブページに掲載し、従業者が閲覧できる環境を設けている。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・公表の方法：山口大学ホームページに掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>） 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
篠田 晃		医師	医学部長
高見 太郎		医師	第一内科長
矢野 雅文		医師	第二内科長
中川 伸		医師	精神科神経科長
長谷川 俊史		医師	小児科長
松永 和人		医師	呼吸器・感染症内科長
濱野 公一		医師	第一外科長
永野 浩昭		医師	第二外科長
坂井 孝司		医師	整形外科長
下村 裕		医師	皮膚科長
高須 啓之		医師	形成外科長
白石 晃司		医師	泌尿器科長
木村 和博		医師	眼科長
山下 裕司		医師	耳鼻咽喉科長
伊東 克能		医師	放射線科長
田中 秀和		医師	放射線治療科長
杉野 法広	○	医師	病院長、産科婦人科長
松本 美志也		医師	麻酔科蘇生科長
石原 秀行		医師	脳神経外科長
三島 克章		歯科医師	歯科口腔外科長
山崎 隆弘		医師	検査部長

鶴田 良介		医師	先進救急医療センター長
黒川 典枝		医師	総合診療部長
石田 博		医師	医療情報部長
高崎 彰久		医師	医療の質・安全管理部長
北原 隆志		薬剤師	薬剤部長
星井 嘉信		医師	病理診断科長
伊藤 浩史		医師	遺伝・ゲノム診療部長
白澤 文吾		医師	医学教育学講座教授 (その他病院長が必要と認めた者)
原田 美佐		看護師	看護部長
川村 篤		事務職員	事務部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

- ・ 規程の主な内容

病院長が有する人事に関する権限として、山口大学医学部附属病院規則において、診療科長、診療施設の部長等及び企画・管理部門の部長等に関する任命及び解任について規定している。病院長が有する予算執行権限として、国立大学法人山口大学財務会計規則及び国立大学法人山口大学予算単位及び予算責任者取扱要項において、各予算単位に予算責任者を置くこととし、医学部附属病院の予算責任者として医学部附属病院長を規定している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長6名を配置し、総務、危機管理（医療安全・感染対策）、再開発整備事業、医療連携（患者支援）、広報、教育、研究、経営・企画、診療、人事・労務、個人情報管理及び患者サービスに関する事項を分掌している。病院の管理運営等に関し病院全体の立場に立ち企画、立案を行い、病院長に提言する者として病院長補佐3名を配置している。また、病院の経営改善対策に関する事項等、病院運営審議会から委託された事項を審議する代議員会として、病院長、副病院長、病院長補佐、薬剤部長、看護部長及び事務部長を構成員とする病院戦略会議を設置している。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院の執行部として、副病院長は病院運営審議会の委員のうちから病院長が指名し、病院運営審議会の議を経て、学長に推薦し任命され、病院長補佐は病院運営審議会において選出することにより管理運営に精通するよう適切な人事を行っている。
研修については、勤務環境改善を考えることを目的とした全国医学部長病院長会議等が主催する「トップマネジメント研修（2021.12.6）」に病院長が、次世代の病院執行部を担う人材育成を目的とした「病院経営次世代リーダー養成塾（2022.2.17）」に副看護部長、事務部長等が参加し、管理運営に関する研修を受けている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。</p> <p>(2) 必要に応じ、本院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。</p> <p>(3) (1)、(2)に掲げる活動について、その結果を公表する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 公表の方法：大学ウェブページに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以

					外の者
--	--	--	--	--	-----

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 学長、理事、副学長、医学部附属病院長及び学外委員により構成する経営協議会において、法人の中期計画・中期目標、年度計画、予算、決算及び業務実績について審議している他、医学部附属病院の経営実績及び経営計画について審議している。 ・ 会議体の実施状況（ 年7回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）（ 年6回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
谷澤幸生	山口大学長	○	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
松野浩嗣	山口大学理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
進土正人	山口大学理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
上西研	山口大学理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
葛崎偉	山口大学特命理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
溝部康雄	山口大学理事・副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
七村守	山口大学理事		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
岡田実	山口大学理事		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
LOEHR MARC	山口大学副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
杉野法広	山口大学副学長・医学部附属病院長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
鍋山祥子	山口大学副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
石井由理	山口大学副学長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
今村孝子	山口県医師会 副会長 山口県公安委員		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
岩崎史哲	株式会社トクヤマ取締役 常務執行役員 研究開発本部長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
岩田幸雄	山口放送株式会社 代表取締役会長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
鎌田積	学校法人都築学園神戸医療未来大学 教授・副学長 一般財団法人日本開発構想研究所 シニアアドバイザー		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
川上康男	株式会社長府製作所代表取締役会長		<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

齋藤宗房	山口トヨタ自動車株式会社代表取締役社長 テレビ山口株式会社代表取締役社長		有・無
桜井博志	旭酒造株式会社会長		有・無
下村輝夫	福岡工業大学長		有・無
末永久大	弁護士法人末永法律事務所弁護士		有・無
原山優子	東北大学名誉教授		有・無
平屋隆之	山口県副知事		有・無
矢儀一仁	株式会社山口フィナンシャルグループ 常務執行役員		有・無
山本謙	UBE株式会社取締役会長		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)
・ 通報件数 (年 0 件)
・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)
・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)
・ 周知の方法
①大学ホームページに掲載
②職員ハンドブックに掲載
③医療安全講習会による周知
④メールを利用した Web アンケート回答後の解説による周知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ，HP，SNS，広報誌等の広報媒体を通して，情報を発信している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーションを実施している。	